

学校生活についてのアンケート調査結果の概要

～ 集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究（中間報告） ～

栃木県総合教育センター研究調査部

当センターでは、平成 18 年度、19 年度の2か年計画の「集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究」に取り組んでいます。

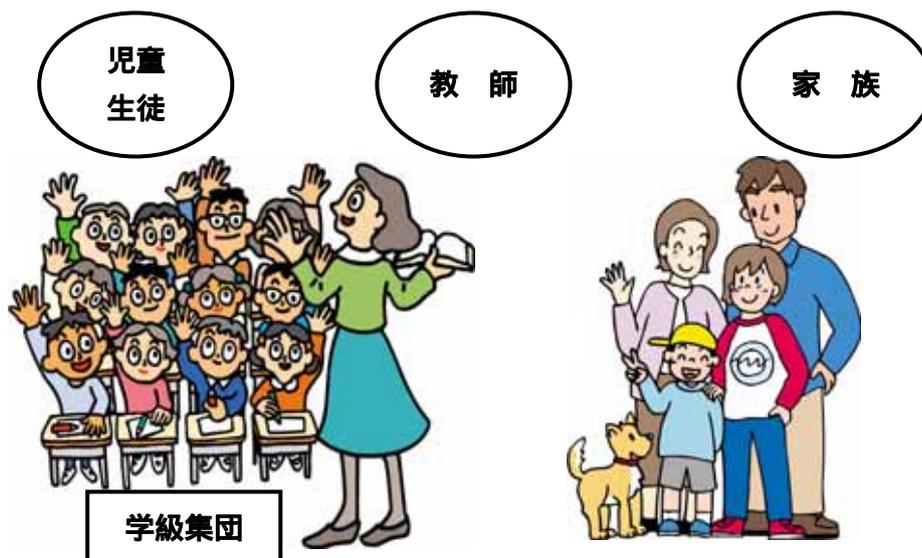
この研究の一環として、児童生徒の集団における望ましい人間関係を構築するための有効な手だてを探る目的で、平成 18 年 10 月に、38 項目からなる「学校生活についてのアンケート」を実施しました。

対象は、県内の小学校第4学年と第6学年、中学校第1学年と第3学年の児童生徒から抽出し、合計 2,075 名から回答を得ました。

ここに紹介する概要では、学級集団における人間関係づくりに着目して調査結果を抜粋し、その特徴を次の四つの項目にまとめました。

- 1 多くの児童生徒は、教師の指導を素直に受け止めています。
- 2 小学校中学年の段階から、子どもの自立は始まります。
- 3 日々の対話やコミュニケーションが、学級の居心地のよさにつながっています。
- 4 児童生徒は、話し合いや活動を通して、よりよい学級にしたいと願っています。

また、項目ごとに今後の取組の視点も示しましたので、学級経営、特別活動、児童生徒指導、キャリア教育・進路指導など、様々な指導・援助に活かしてください。



1 多くの児童生徒は、教師の指導を素直に受け止めています。

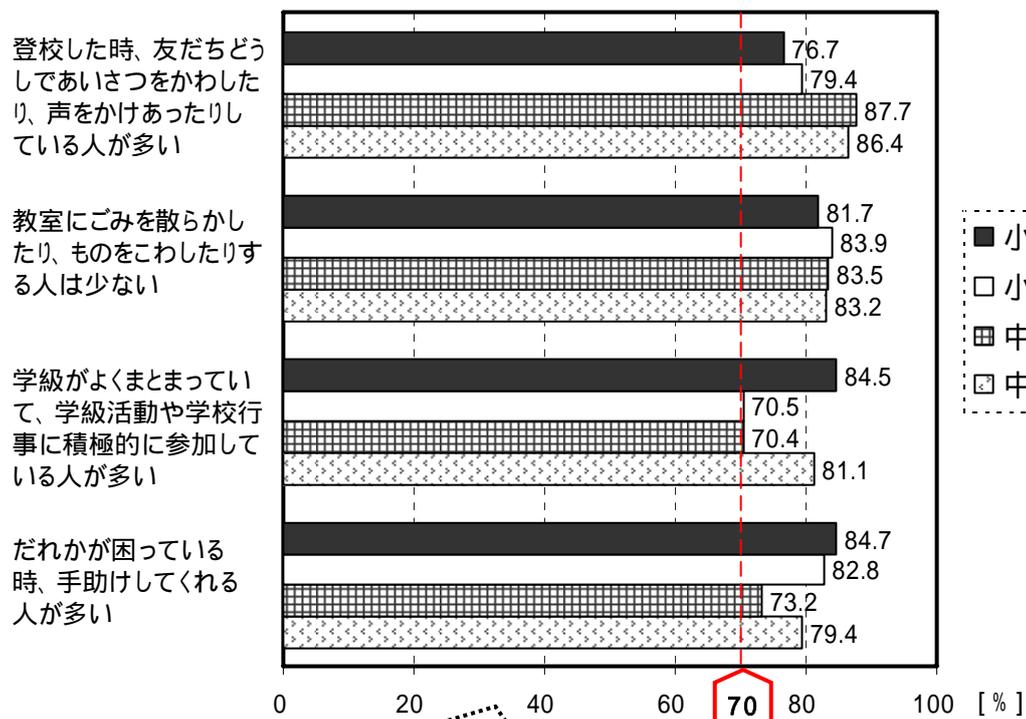
◇ 児童生徒にも分かる具体的な取組は、着実に成果が現れています。

調査結果の特徴とその読み取り

教師は、日々の教育活動の中で、指導内容を言葉や動作に表して児童生徒に伝えようと努力しています。その中でも、「あいさつ」、「教室環境の整備」、「学校行事や学級活動への積極的な参加」などは、学校教育では不易とも言うべき大切な指導内容です。

図1 - 1のように、教師どうしの共通理解が図られていて、保護者にも理解が得られていると思われる項目については、いずれの学年でも肯定的回答（「そう思う」、「どちらかというと思う」）が7割を超える高い割合となっています。

図1 - 1 肯定的な回答の割合が高い項目(抜粋)
肯定的回答(%)：「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計



(選択肢は次の四つです。)

「そう思う」、「どちらかというと思う」 肯定的回答

「どちらかというと思わない」、「そう思わない」 否定的回答

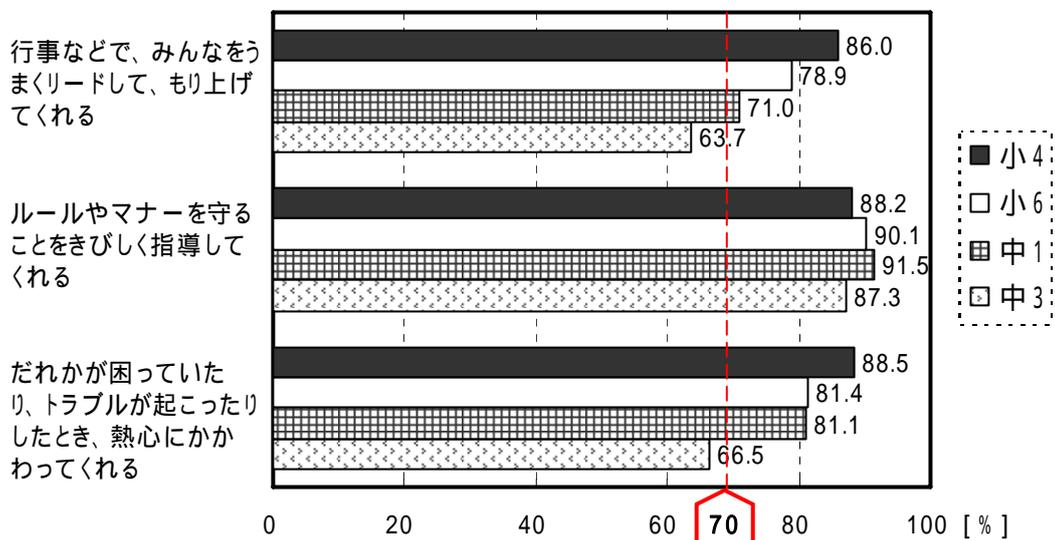
以下、図1 - 2、図2 - 2についても選択肢は同じです。

◇ 教師の積極的な指導や熱意は、児童生徒に確実に伝わっています。

調査結果の特徴とその読み取り

「積極性」、「熱心さ」、「きびしさ」など、教師には様々な姿や役割が求められます。次の図1 - 2は、児童生徒がこうした教師の指導をどのように受け止めているかを示すものです。肯定的回答（「そう思う」、「どちらかというと思う」）の割合が、中3以外の学年では7割を超えています。指導にあたる教師の姿勢や熱意が、多くの児童生徒に伝わっていることがうかがえます。

図1 - 2 教師の指導に関する項目
肯定的回答(%)：「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計



《 今後の取り組みの視点 》

学年が上がるにしたがって、全体に対する指導が難しくなったり、それまでと同じ指導が通じにくくなったりすることがあります。教師一人一人が指導内容を工夫するとともに、協働して指導にあたる姿勢を示すことが大切です。そのことで教師の思いが児童生徒に伝わり、徐々に指導の成果が現れてくると考えられます。

◇ 学級の雰囲気や集団内の人間関係のとらえ方は、小4と小6との間で大きく異なります。

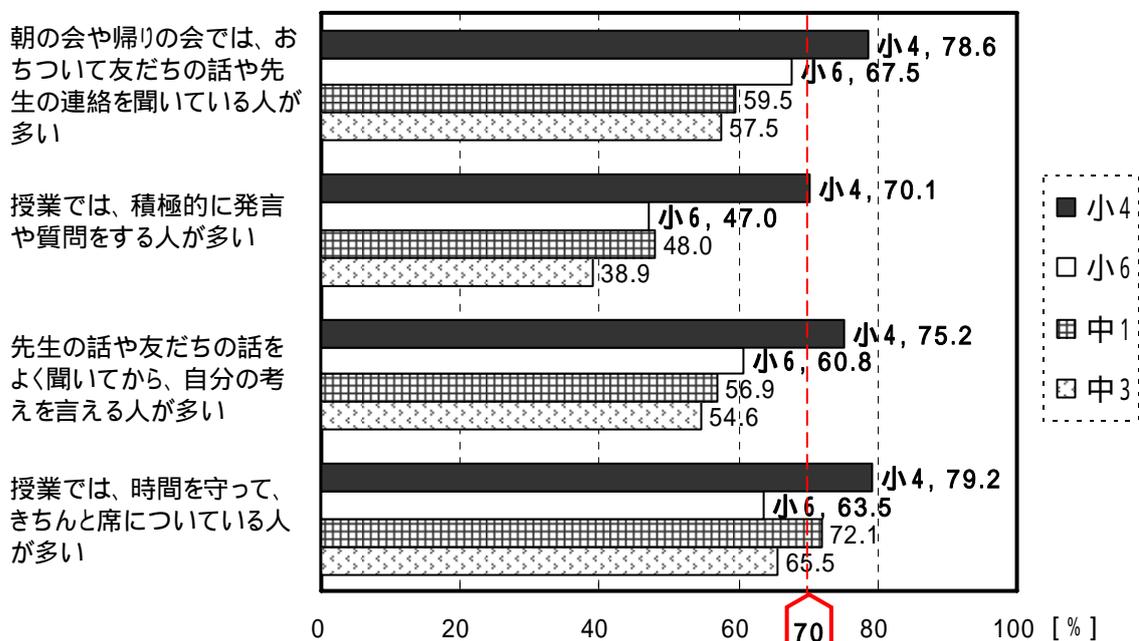
調査結果の特徴とその読み取り

生徒指導上の様々な問題を考える場合、小学生と中学生との間での意識や行動の違いが気になるところです。しかし、今回の調査結果からは、小学校4年生と6年生との間で、児童の意識の変化が起こっていることが分かりました。

次の図2 - 1のように、肯定的回答について学年間の差に着目すると、小6と中1、中1と中3のそれぞれの学年間の差よりも、小4と小6との間の差の方が大きいことが分かります。

小学校の高学年になると、それまで教師の言葉かけに素直に返事をしたり、授業で積極的に発言をしたりしていた児童が、教師やまわりの友だちの言動や集団の雰囲気をうかがうような意識が強くなり、指導が難しくなることがあります。こうした児童生徒の意識や行動の変化が、アンケート調査の結果に反映したものとと思われます。

図2 - 1 小4と小6との間の肯定的回答の差が大きい4項目
肯定的回答(%)：「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計



この図では、小4と小6の肯定的回答の割合をゴシック体で強調して示しています。

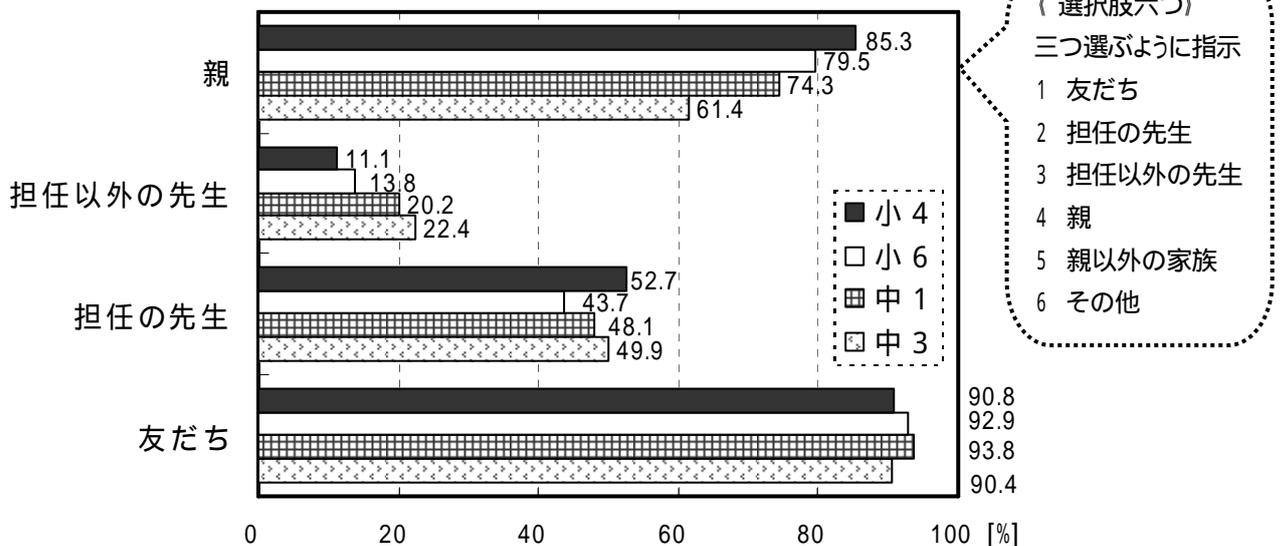
◇ 学年が上がるにつれて、友だちや教師などの家族以外の人々からの励ましや支えが重要になってきます。

調査結果の特徴とその読み取り

次の図2 - 2を見ると、学校のことで困ったときに励ましてもらうとうれしい相手として、「友だち」と回答した児童生徒の割合は、いずれの学年でも9割を超えています。次に高い割合を示すのは「親」ですが、小4では8割を超えているのに対し、小6、中1、中3と学年が上がるにつれて低くなっています。「担任の先生」と回答した児童生徒は4割から5割前後で、「友だち」や「親」と比較すると低い割合ですが、「親」と違って、小6よりも中1、中3の割合が高くなっています。「担任以外の先生」については、「担任の先生」と比較すると半分に満たない割合ですが、「親」と違って、小4、小6、中1、中3の順に高くなっています。

家族との会話が中心であった幼児期と違って、小学校に入ると、友だちや担任の先生との会話が增え、さらに、中学校では、担任以外の先生と関わる機会が増えます。また、思春期になると、親から自立しようとする気持ちも強くなります。このような人間関係の広がりや自立意識の高まりなどが、アンケート調査の回答に表れていると考えられます。

図2 - 2 「あなたは、学校のことで困ったとき、だれにはげましてもらうとうれしいですか」(友だち、担任、担任以外の先生、親)



《 今後の取り組みの視点 》

小学校入学は、学校生活のスタートという大きな節目ですが、小学校4年生は、自立への第一歩を踏み出す節目と考えられます。われわれ教師は、このような発達段階の特徴を踏まえて指導にあたるのが大切です。

また、児童生徒が自立していく過程では、人間関係の範囲が、家庭から学校、さらに社会へと広がっていきます。自立を促したり支えたりする人間関係として、小学校高学年から中学校の段階では、家族と並んで教師の存在が重要であるという考え方に立って指導にあたきましょう。

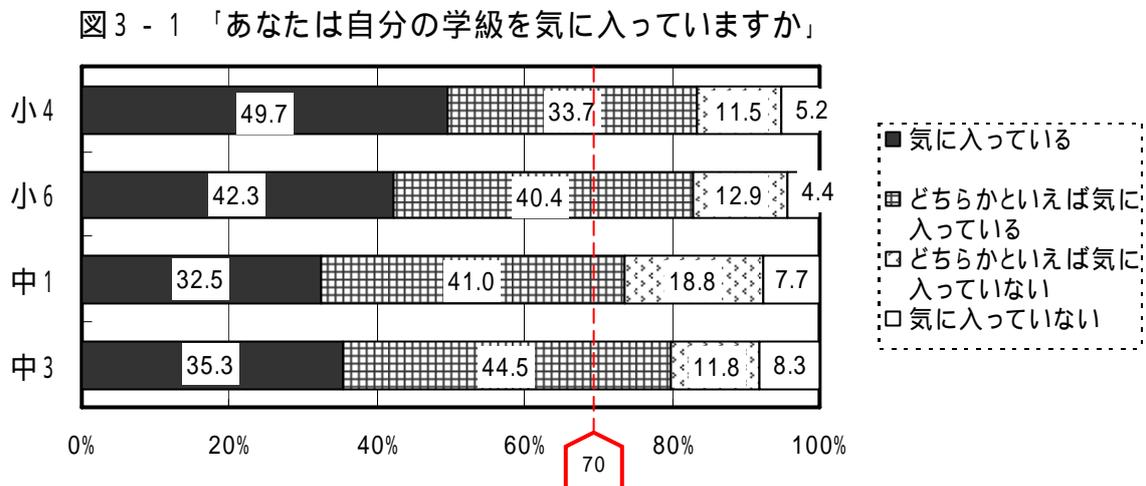
なお、自立に向けて踏み出すタイミングやテンポは、一人一人異なります。集団における人間関係づくりの指導は、ガイダンスとカウンセリングの両面からの指導が必要です。

3 日々の対話やコミュニケーションが、学級の居心地のよさにつながっています。

◇ 友だちや先生といっしょに活動したり、対話したりすることが、「自分の学級を気に入っている」という気持ちと関連しています。

調査結果の特徴とその読み取り（単純集計結果より）

図3 - 1のように、「あなたは自分の学級を気に入っていますか」という項目について、「気に入っている」または「どちらかという気に入っている」のいずれかを回答した児童生徒の割合は、調査した全ての学年で7割を超えています。多くの児童生徒が学級に居心地のよさを感じていることが分かります。



調査結果の特徴とその読み取り（クロス集計結果より）

ここでは、「あなたは自分の学級を気に入っていますか」という項目に対して、次の二つの項目との関連を見るクロス集計の結果を例として取り上げます。

- ・「だれかが困っているとき手助けしてくれる人が多い」(図3 - 2)
- ・「友だちはあなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか」(図3 - 3)

手助けしてくれる人が多いと感じている児童ほど、学級を気に入っていると回答している割合が高く、友だちとの対話に関する項目についても同様の傾向が見られます。

以上のように、「お互いに助け合える」、「友だちに話を聞いてもらえる」など対話やコミュニケーションにおける信頼感、安心感といった要素が、「自分の学級を気に入っている」という意識に影響していることが推察されます。

なお、図3 - 2、3はどちらも小4の結果ですが、これらの二つの項目については、小6、中1、中3のいずれの学年でも同様の傾向が見られました。

図3 - 2 「だれかが困っている時、手助けしてくれる」×「自分の学級を気に入っている」(小4)

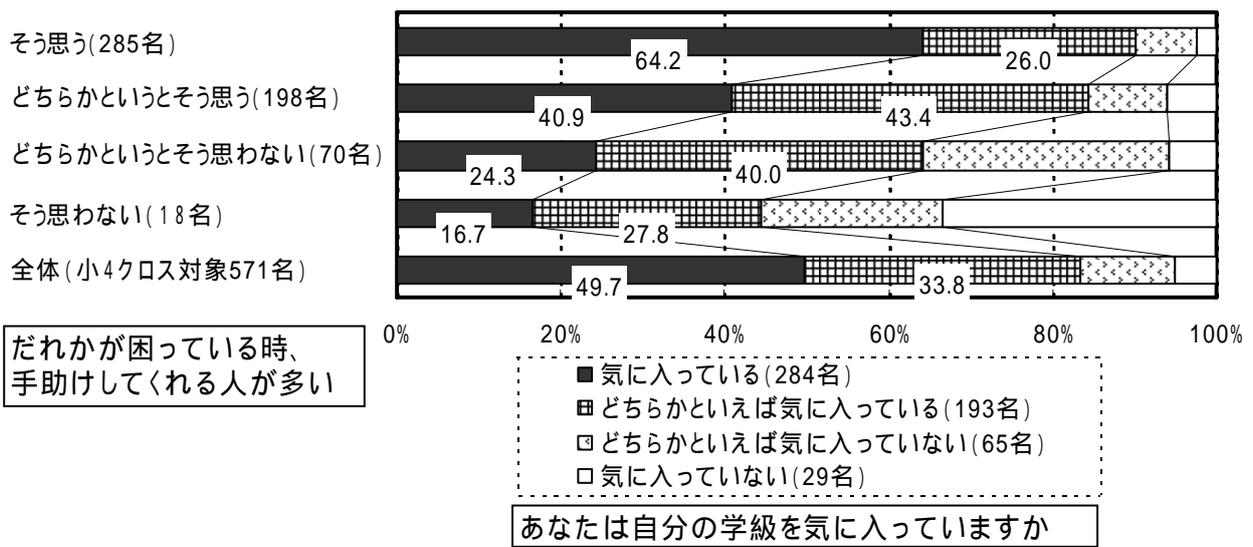
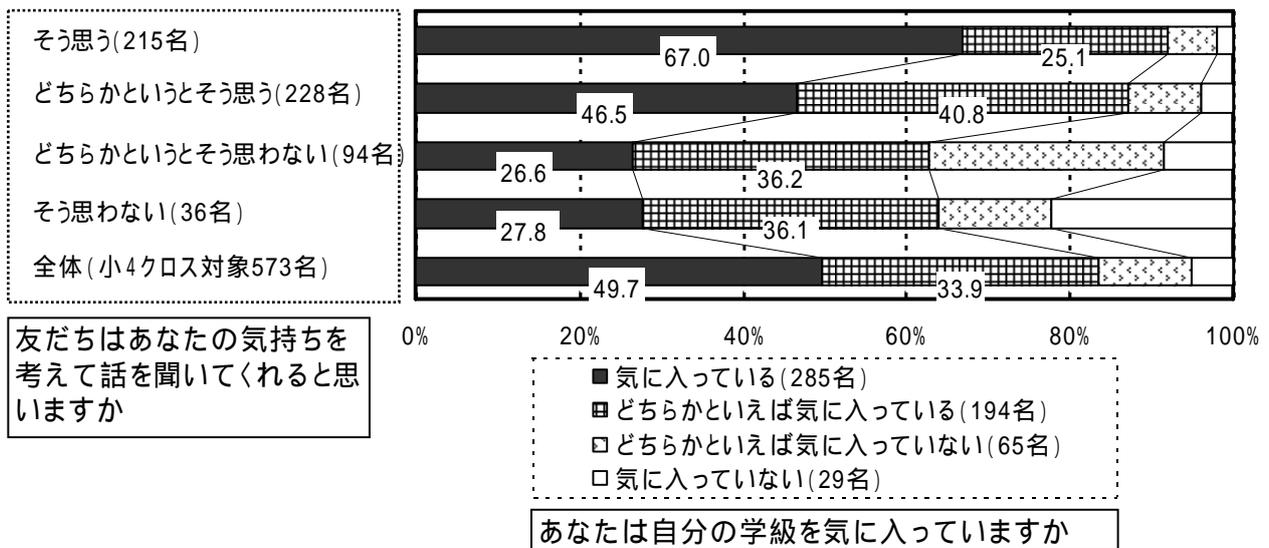


図3 - 3 「友だちは話を聞いてくれる」×「自分の学級を気に入っている」(小4)



《 今後の取り組みの視点 》

児童生徒どうし、あるいは教師と児童生徒との間での対話や日々の活動の一つ一つが人間関係づくりの基盤となります。特に、「落ち着いて人の話を聞く」、「相手を気遣って行動する」などの指導を重視して、対話やコミュニケーションに対する安心感、信頼感を高めることが大切です。

4 児童生徒は、話し合いや活動を通して、よりよい学級にしたいと願っています。

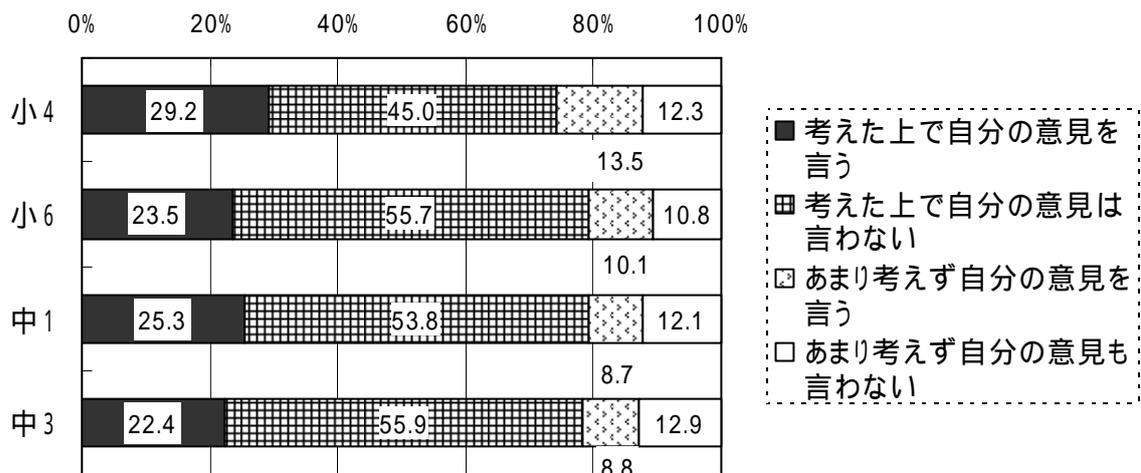
◇ 話し合いで友だちと考えや意見が対立した時の対応は、児童生徒にとってたいへん難しい課題です。自分の考えがあっても、言わないでいる児童生徒がたくさんいます。

調査結果の特徴とその読み取り

図4-1のように、「あなたは、話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか」という項目については、いずれの学年も、「考えた上で自分の意見は言わない」を選んだ児童生徒の割合が最も高くなっています。

この結果から、異なる意見を調整してまとめることは、児童生徒にとって難しい課題であることが分かります。

図4-1 「話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか」



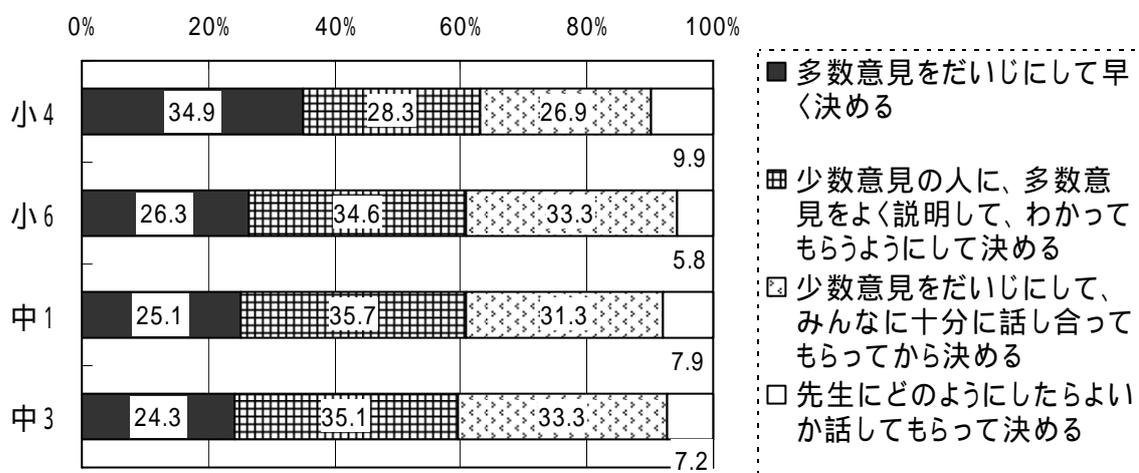
- ◇ 話し合いでいくつかの意見に分かれた時、多数決で早く決めてしまおうという児童生徒ばかりではありません。
- ◇ 多くの児童生徒は、安易に多数決で決めてしまわないで、相手に納得してもらえようように説明したり、十分に話し合ったりしようとする気持ちをもっています。

調査結果の特徴とその読み取り

図4 - 2のように、「話し合いの結果、いくつかの意見に分かれた場合、あなたはどのように司会を進めたいと思いますか」という項目については、小4では、「多数意見をだいいにして早く決める」が最も高い割合でした。これに対して、その他の学年では、「少数意見の人に、多数意見をよく説明して、わかってもらうようにして決める」、「少数意見をだいいにして、みんなに十分に話し合ってもらってから決める」などの方が高い割合を示しました。

この結果を見ると、多くの児童生徒は、友だちの意見に真摯に向き合うことや、お互いの考えを尊重し合うことを大切にしたいという気持ちをもっていることが分かります。

図4 - 2 「話し合いの結果、いくつかの意見に分かれた場合、あなたはどのように司会を進めたいと思いますか」



《 今後の取り組みの視点 》

話し合いや活動に参加する際には、建設的な意見を言ったり、意見をまとめたり、率先して行動したりするなどの積極的な態度と同時に、集団の人間関係やまわりの雰囲気を感じながら、他者の意見を理解したり、表情を読み取ったりするなどの、相手を気遣う態度の両面が大切です。これらの指導は、小学校段階からじっくりと時間をかけて取り組む必要があります。

自他を尊重した話し合いの仕方を身に付けさせる指導は、集団における人間関係づくりの構築にとっても有効と考えられます。

- アンケート調査に関する以下の資料は、栃木県総合教育センターのホームページで公開しています。
 - ・学校生活についてのアンケート調査結果の概要(本資料)
 - ・アンケート調査用紙および調査の実施手順と留意事項
 - ・アンケート調査の単純集計結果

栃木県総合教育センター <http://www.tochigi-c.ed.jp/curriculum/>

- アンケートの調査用紙は、ダウンロードできますので、各学校で自由にお使いください。
- 資料の活用についてのご質問やご相談は、栃木県総合教育センター研究調査部までお問い合わせ下さい。



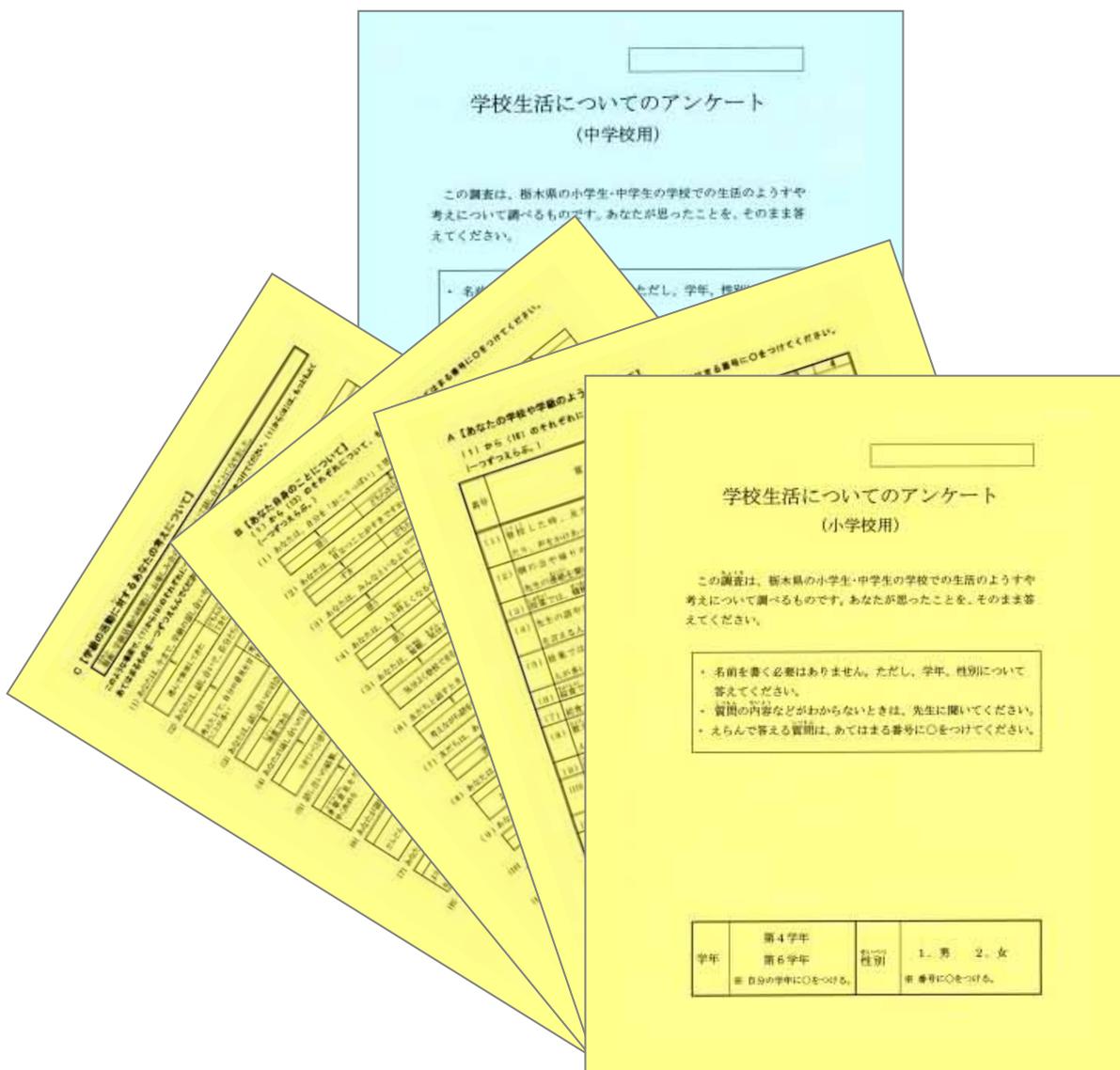
(TEL) 028-665-7204



(FAX) 028-665-7303

(E - mail) cur-c@tochigi-c.ed.jp

(カリキュラムセンター専用)



アンケート調査用紙は、そのまま印刷して利用できる形式と調査項目を自由に加工できる形式の両方がありますので、ご活用ください。

学校生活についてのアンケート
調査の実施手順と留意事項
(監督の先生方へ)

児童生徒にアンケート用紙を配付します。

アンケート用紙の表紙の「学年」「出席番号」の欄に、学年、出席番号を書かせます。

学校内で実施する場合の留意点

この調査は、県総合教育センターが実施したものです。学校で実施する場合、調査結果について個別に指導目的で使うなどの活用については配慮が必要です。「個人は特定されないこと」や「先生も見ることはないこと」などを伝えて、「出席番号は書かないでよい」などの指導が必要です。

性別を記入させます。

アンケート用紙の表紙にある説明を読み上げます。

- ・必要であれば、学年の実態に応じた説明を補います。
- ・選択肢のある質問に対しては、あてはまる番号に をつけます。
- ・「その他」を選んだ場合、()内にその内容を書きます。

選択肢の質問には、すべてに回答させてください。
この(9)は三つ、どれ以外の項目は、すべて一つずつ を
付けるようになっています。

質問に回答させます。

- ・各自で進めさせます。(質問があれば、その都度受けてください。)
- ・時間を見て、必要があれば回答を急ぐよう促します。

調査を終了します。

- ・調査時間は、約15分から20分を想定していますが、状況を見て監督者の判断で終了します。



学校生活についてのアンケート

(小学校用)

この調査は、栃木県の小学生・中学生の学校での生活のようすや考えについて調べるものです。あなたが思ったことを、そのまま答えてください。

- ・ 名前を書く必要はありません。ただし、学年、性別について答えてください。
- ・ 質問の内容などがわからないときは、先生に聞いてください。
- ・ えらんで答える質問は、あてはまる番号に をつけてください。

学年	第4学年 第6学年 自分の学年に をつける。	せいべつ 性別	1. 男 2. 女 番号に をつける。
----	------------------------------	------------	------------------------

A【あなたの学校や学級のようすについて】

(1) から (16) のそれぞれについて、もっともよくあてはまる番号に をつけてください。

(一つずつえらぶ。)

番号	質 問 項 目	1	2	3	4
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらか というと そう思わ ない	そう思わ ない
(1)	登校した時、友だちどうしであいさつをかわしたり、声をかけあったりしている人が多い。	1	2	3	4
(2)	朝の会や帰りの会では、落ち着いて友だちの話や先生の連絡を聞いている人が多い。	1	2	3	4
(3)	授業では、積極的に発言や質問をする人が多い。	1	2	3	4
(4)	先生の話や友だちの話をよく聞いてから、自分の考えを言える人が多い。	1	2	3	4
(5)	授業では、時間を守って、きちんと席についている人が多い。	1	2	3	4
(6)	給食では、なごやかな雰囲気ですべての食事をしている人が多い。	1	2	3	4
(7)	給食では、協力して準備や後片づけをしている人が多い。	1	2	3	4
(8)	教室にごみを散らかしたり、ものをこわしたりする人は少ない。	1	2	3	4
(9)	掃除にまじめに取り組む人が多い。	1	2	3	4
(10)	学級がよくまとまっていて、学級活動や学校行事に積極的に参加している人が多い。	1	2	3	4
(11)	約束やきまりを守って生活している人が多い。	1	2	3	4
(12)	だれかがこまっている時、手助けしてくれる人が多い。	1	2	3	4
(13)	先生方から、この学級は落ち着いていると言われることが多い。	1	2	3	4
(14)	行事などで、みんなをうまくリードして、もり上げてくれる先生が多い。	1	2	3	4
(15)	ルールやマナーを守ることをきびしく指導してくれる先生が多い。	1	2	3	4
(16)	だれかがこまっていたり、トラブルが起こったりしたとき、熱心にかかわってくれる先生が多い。	1	2	3	4

B【あなた自身のことについて】

(1) から (13) のそれぞれについて、もっともよくあてはまる番号に をつけてください。

(一つずつえらぶ。)

- (1) あなたは、自分を「おこりっぽい」と思いますか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (2) あなたは、^{めだ}目立つことが好きですか。

1	2	3	4
好き	どちらかというとき	どちらかというときではない	好きではない

- (3) あなたは、みんなというより^{ひとり}一人である方が^{らく}楽だと思いませんか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (4) あなたは、人と^{なか}仲よくなるのがじょうずだと思いませんか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (5) あなたは、^{まいあさ}毎朝、^{きぶん}気分よく^{とうこう}登校できますか。

1	2	3	4
気分よく登校できる	どちらかという気分よく登校できる	どちらかという気分よく登校できない	気分よく登校できない

- (6) 友だちと話すとき、あなたは^{あいて}相手の気持ちを考えながら話をしていますか。

1	2	3	4
考えながら話している	どちらかという考えながら話している	どちらかという考えながら話していない	考えながら話をしていない

- (7) 友だちは、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いませんか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (8) あなたは、^{たんになん}担任の先生の話をよく聞いていますか。

1	2	3	4
よく聞いている	どちらかというよく聞いている	どちらかというよく聞いていない	聞いていない

- (9) あなたのまわりの先生は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いませんか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (10) あなたは、家に帰ってから、その日の学校のできごとについて^{かそく}家族と話しますか。

1	2	3	4
話す	どちらかという話す	どちらかという話さない	話さない

- (11) 家族は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いませんか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (12) あなたは、自分の学級にいると^{おつ}落ち着きますか。

1	2	3	4
落ち着く	どちらかといえば落ち着く	どちらかといえば落ち着かない	落ち着かない

- (13) あなたは、自分の学級を気に入っていますか。

1	2	3	4
気に入っている	どちらかといえば気に入っている	どちらかといえば気に入っていない	気に入っていない

C【学級の活動に対するあなたの考えについて】

場面：学級活動の時間に、お楽しみ会の計画について話し合うことになりました。

このような場面で、(1)から(9)のそれぞれについて、あてはまる番号にをつけてください。(1)から(8)は、もっともよくあてはまるもの一つずつえらんでください。(9)は、三つえらんでください。

(1) あなたは、今まで、学級の話し合いや活動に自分から進んで参加してきましたか。

1	2	3	4
進んで参加してきた	どちらかというに進んで参加してきた	どちらかというに進んで参加はしてこなかった	進んで参加はしてこなかった

(2) あなたは、話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか。

1	2	3	4
考えた上で、自分の意見を言うことが多い	考えた上で、自分の意見は言わずにだまっていることが多い	あまり考えずに、すぐに自分の意見を言うことが多い	あまり考えず、自分の意見も言わずにだまっていることが多い

(3) あなたは、話し合いの司会をすることが得意ですか。

1	2	3	4
得意である	どちらかという得意である	どちらかという苦手である	苦手である

(4) あなたが話し合いの司会にえらばれた場合、うまくいくと思いますか。

1	2	3	4
うまくいくと思う	どちらかといううまくいくと思う	どちらかといううまくいくとは思わない	うまくいくとは思わない

(5) 話し合いの結果、いくつかの意見に分かれた場合、あなたはどのように司会を進めたいと思いますか。

1	2	3	4
多数意見をだいにしえて早く決める	少数意見の人に、多数意見をよく説明して、わかってもらうようにして決める	少数意見をだいにしえて、みんな十分に話し合ってもらって決める	先生にどのようにしたらよいか話してもらって決める

(6) あなたが話し合いの司会にえらばれた場合、友だちにどのようにしてほしいですか。

1	2	3	4
どんどん意見を出してほしい	みんなに対する思いやりの気持ちをもって意見を出してほしい	司会をこまらせるような意見を言わないでほしい	とくにしてほしいことはない

(7) あなたが話し合いの司会にみんなからえらばれたことを家の人に話した場合、家の人はどうなことを言うと思いますか。

1	2	3	4
よかったねと言ってほめられると思う	だいたいよぶかと心配してくれと思う	がんばってねとはげまされると思う	とくに、何も言わないと思う

(8) 今よりも、みんなが話し合いや活動に進んで参加するようになるために、「先生におねがいたいこと」はありますか。次のうちから、もっともよくあてはまるものをえらんでください。(「その他」をえらんだ場合、()にその内容を書く。)

1	2	3	4	5	6
話し合いや活動に参加しない人に、きびしく言ってほしい	先生も話し合いで意見を言ったり、活動に参加したりしてほしい	話し合いや活動で出たみんなの意見を、もう少し聞いてほしい	みんなが意見を出したり、活動に参加したりしやすくなるように工夫してほしい	特におねがいたいことはな	その他

(9) あなたは、学校のことでこまったとき、だれにはげましてもらとうれしいですか。次の1から6のうちから、三つえらんでください。

(「その他」をえらんだ場合、()にその内容を書く。)

1	2	3	4	5	6
友だち	担任の先生	担任以外の先生	親	きょうだい、兄弟、姉妹、そふぼ、祖父母など	その他()



学校生活についてのアンケート

(中学校用)

この調査は、栃木県の小学生・中学生の学校での生活のようすや考えについて調べるものです。あなたが思ったことを、そのまま答えてください。

- ・ 名前を書く必要はありません。ただし、学年、性別について答えてください。
- ・ 質問の内容などがわからないときは、先生に聞いてください。
- ・ 選んで答える質問は、あてはまる番号に をつけてください。

学年	第1学年 第3学年 自分の学年に をつける。	性別	1 . 男 2 . 女 番号に をつける。
----	------------------------------	----	-----------------------------

A【あなたの学校や学級の様子について】

(1) から (16) のそれぞれについて、もっともよくあてはまる番号に をつけてください。

(一つずつ選ぶ。)

番号	質 問 項 目	1	2	3	4
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらか というと そう思わ ない	そう思わ ない
(1)	登校した時、友だちどうしであいさつをかわしたり、声をかけあったりしている人が多い。	1	2	3	4
(2)	朝の会や帰りの会では、落ち着いて友だちの話や先生の連絡を聞いている人が多い。	1	2	3	4
(3)	授業では、積極的に発言や質問をする人が多い。	1	2	3	4
(4)	先生の話や友だちの話をよく聞いてから、自分の考えを言える人が多い。	1	2	3	4
(5)	授業では、時間を守って、きちんと席についている人が多い。	1	2	3	4
(6)	給食では、なごやかな雰囲気ですべての席で食事をしている人が多い。	1	2	3	4
(7)	給食では、協力して準備や後片づけをしている人が多い。	1	2	3	4
(8)	教室にごみを散らかしたり、ものをこわしたりする人は少ない。	1	2	3	4
(9)	掃除にまじめに取り組む人が多い。	1	2	3	4
(10)	学級がよくまとまっていて、学級活動や学校行事に積極的に参加している人が多い。	1	2	3	4
(11)	約束やきまりを守って生活している人が多い。	1	2	3	4
(12)	だれかが困っている時、手助けしてくれる人が多い。	1	2	3	4
(13)	先生方から、この学級は落ち着いていると言われることが多い。	1	2	3	4
(14)	行事などで、みんなをうまくリードして、盛り上げてくれる先生が多い。	1	2	3	4
(15)	ルールやマナーを守ることをきびしく指導してくれる先生が多い。	1	2	3	4
(16)	だれかが困っていたり、トラブルが起こったりしたとき、熱心にかかわってくれる先生が多い。	1	2	3	4

B【あなた自身のことについて】

(1) から (13) のそれぞれについて、もっともよくあてはまる番号に をつけてください。

(一つずつ選ぶ。)

- (1) あなたは、自分を「おこりっぽい」と思いますか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (2) あなたは、目立つことが好きですか。

1	2	3	4
好き	どちらかと思う	どちらかと思う好きではない	好きではない

- (3) あなたは、みんなといるより一人の方が楽だと思いませんか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (4) あなたは、人と仲よくなるのがじょうずだと思いますか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (5) あなたは、毎朝、気分よく登校できますか。

1	2	3	4
気分よく登校できる	どちらかという気分よく登校できる	どちらかという気分よく登校できない	気分よく登校できない

- (6) 友だちと話すとき、あなたは相手の気持ちを考えながら話をしていますか。

1	2	3	4
考えながら話している	どちらかという考えながら話している	どちらかという考えながら話していない	考えながら話をしていない

- (7) 友だちは、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (8) あなたは、担任の先生の話をよく聞いていますか。

1	2	3	4
よく聞いている	どちらかというよく聞いている	どちらかというよく聞いていない	よく聞いていない

- (9) あなたのまわりの先生は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (10) あなたは、家に帰ってから、その日の学校のできごとについて家族と話しますか。

1	2	3	4
話す	どちらかという話す	どちらかという話さない	話さない

- (11) 家族は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか。

1	2	3	4
思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない

- (12) あなたは、自分の学級にいると落ち着きますか。

1	2	3	4
落ち着く	どちらかといえば落ち着く	どちらかといえば落ち着かない	落ち着かない

- (13) あなたは、自分の学級を気に入っていますか。

1	2	3	4
気に入っている	どちらかといえば気に入っている	どちらかといえば気に入っていない	気に入っていない

C【学級の活動に対するあなたの考えについて】

場面：学級活動の時間に、学校祭や合唱コンクールについて、学級の発表内容を話し合いで決める。

このような場面で、(1)から(9)のそれぞれについて、もっともよくあてはまる番号にをつけてください。(1)から(8)は、一つずつえらんでください。また、(9)は、三つえらんでください。「その他」をえらんだ場合、()にその内容を書いてください。

(1) あなたは、今まで、学級の話し合いや活動に自分から進んで参加してきましたか。

1	2	3	4
進んで参加してきた	どちらかという進んで参加してきた	どちらかという進んで参加はしてこなかった	進んで参加はしてこなかった

(2) あなたは、話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか。

1	2	3	4
考えた上で、自分の意見を言うことが多い	考えた上で、自分の意見は言わずにだまっていることが多い	あまり考えずに、すぐに自分の意見を言うことが多い	あまり考えずに、自分の意見も言わずだまっていることが多い

(3) あなたは、話し合いの司会をすることが得意ですか。

1	2	3	4
得意である	どちらかという得意である	どちらかという苦手である	苦手である

(4) あなたが話し合いの司会に選ばれた場合、うまくいくと思いますか。

1	2	3	4
うまくいくと思う	どちらかといううまくいくと思う	どちらかといううまくいくとは思わない	うまくいくとは思わない

(5) 話し合いの結果、いくつかの意見に分かれた場合、あなたはどのように司会を進めたいと思いますか。

1	2	3	4
多数意見をだいいにして早く決める	少数意見の人に、多数意見をよく説明して、わかってもらうようにして決める	少数意見をだいいにして、みんなに十分に話し合ってもらってから決める	先生にどのようにしたらよいか話してもらって決める

(6) あなたが話し合いの司会に選ばれた場合、友だちにどのようにしてほしいですか。

1	2	3	4
どんどん意見を出してほしい	みんなに対する思いやりの気持ちをもって意見を出してほしい	司会をこまらせるような意見を言わないでほしい	とくにしてほしいことはない

(7) あなたが話し合いの司会にみんなから選ばれたことを家の人に話した場合、家の人はどうなことを言うと思いますか。

1	2	3	4
よかったねと言ってほめてくれると思う	だいじょうぶかと心配してくれると思う	がんばってねとはげましてくれると思う	とくに、何も言わないと思う

(8) 今よりも、みんなが話し合いや活動に進んで参加するようになるために、「先生におねがいたいこと」はありますか。次の1から6のうちから、もっともあてはまるものを選んでください。(一つ選ぶ。)

1	2	3	4	5	6
話し合いや活動に参加しない人に、きびしく言ってほしい	先生も話し合いで意見を言ったり、活動に参加したりしてほしい。	話し合いや活動で出たみんなの意見を、もう少し聞いてほしい。	みんなが意見を出したり、活動に参加したりしやすくなるように工夫してほしい。	特におねがいはない	その他 〔 〕

(9) あなたは、学校のことで困ったとき、だれにはげましてもらとうれしいですか。次の1から6のうちから三つ選んでください。

1	2	3	4	5	6
友だち	担任の先生	担任以外の先生	兄弟、姉妹、祖父母など	親	その他()

学校生活についてのアンケート (単純集計結果)

栃木県総合教育センター研究調査部
平成 19 年 1 月 26 日

「学校生活についてのアンケート」の結果について

栃木県総合教育センター研究調査部

1 調査の目的

この調査は、子どもたち一人一人の自信や心の居場所となる学級に着目して、様々な活動や場面に対する児童生徒の印象を把握するとともに、ふだんの会話や話し合いなどでの人間関係などについて、児童生徒の意識を探るものである。また、その結果をもとに、学級経営や特別活動の充実のための手だてを明らかにすることをねらいとしている。

なお、今年度は中間報告を行い、次年度はまとめの報告として学級経営や特別活動の充実のための教師用資料を作成し、各学校及び教育関係機関に配付する予定である。

2 調査の方法・内容等

(1) 対象

小学校第4学年及び第6学年、中学校第1学年及び第3学年の児童生徒、合わせて2,075名を対象として実施した。なお、各学校とも一学年につき一学級を選定した。

学 年	抽出学校数	抽出学級数	抽出生徒数
小学校第4学年	20	20	579
小学校第6学年	20	20	567
中学校第1学年	16	16	470
中学校第3学年	16	16	459

(2) 調査方法

別紙アンケートにより行った。所要時間は概ね20分程度。

(3) 実施期日

平成18年10月中旬～11月初旬までの約3週間の期間の適当な日時を学校が定めて実施した。

(4) 集計・分析の方針

- ・単純集計結果をまとめて、学年間の違いを検討する。
- ・項目間の相関係数を求めたのち、クロス集計を行い、項目間の関連を明らかにする。
- ・学級間の違いを検討する。

A【あなたの学校や学級の様子について】

児童生徒が、自分の学校や学級の様子をどのように受け止めているか把握するために、登下校、朝の会や帰りの会、授業、給食、掃除、学校行事など、様々な場面における学校生活の様子や集団の雰囲気、教師の指導態勢などについて、下の表のような16項目を設定しました。

それぞれの項目について、「1 そう思う」、「2 どちらかというと思う」、「3 どちらかというと思わない」、「4 そう思わない」の四つの選択肢で回答を求めました。



「授業では、積極的に発言や質問をする人が多い。」

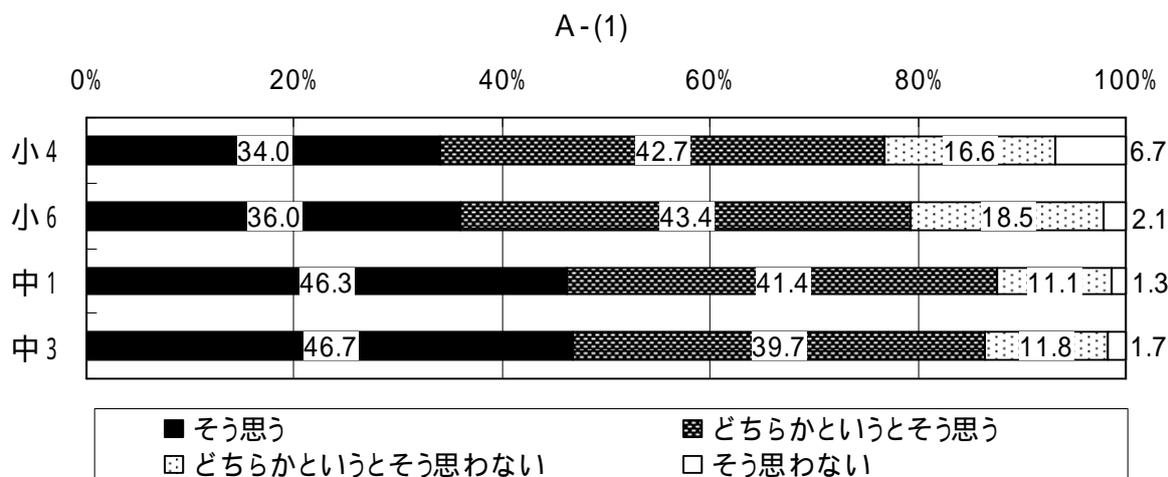
「そう思う」「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」「思わない」

Aの16項目

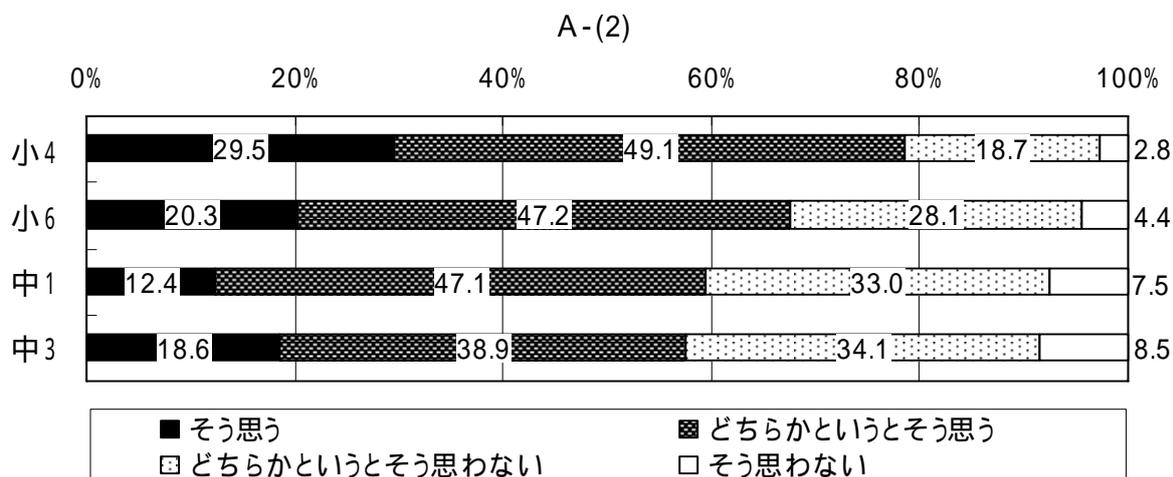
番	項 目
(1)	毎朝、登校した時、友だちどうしであいさつをかわしたり、声をかけあったりしている人が多い。
(2)	朝の会や帰りの会では、おちついて友だちの話や先生の連絡を聞いている人が多い。
(3)	授業では、積極的に発言や質問をする人が多い。
(4)	先生の話や友だちの話をよく聞いてから、自分の考えを言える人が多い。
(5)	授業では、時間を守って、きちんと席についている人が多い。
(6)	給食では、なごやかな雰囲気ですべてを食べている人が多い。
(7)	給食では、協力して準備や後片づけをしている人が多い。
(8)	教室にごみを散らかしたり、ものをこわしたりする人は少ない。
(9)	掃除にまじめに取り組む人が多い。
(10)	学級がよくまとまっていて、学級活動や学校行事に積極的に参加している人が多い。
(11)	約束やきまりを守って生活している人が多い。
(12)	だれかが困っている時、手助けしてくれる人が多い。
(13)	先生方から、この学級は落ち着いていると言われることが多い。
(14)	行事などで、みんなをうまくリードして、もり上げてくれる先生が多い。
(15)	ルールやマナーを守ることをきびしく指導してくれる先生が多い。
(16)	だれかが困っていたり、トラブルが起こったりしたとき、熱心にかかわってくれる先生が多い。

単純集計結果（A）

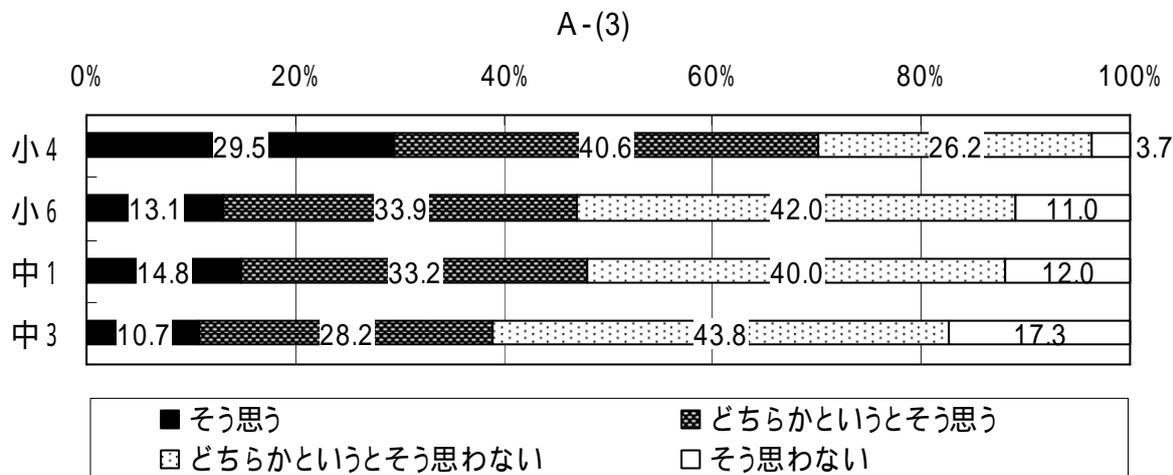
（１）毎朝、登校した時、友だちどうしであいさつをかわしたり、声をかけあったりしている人が多い。



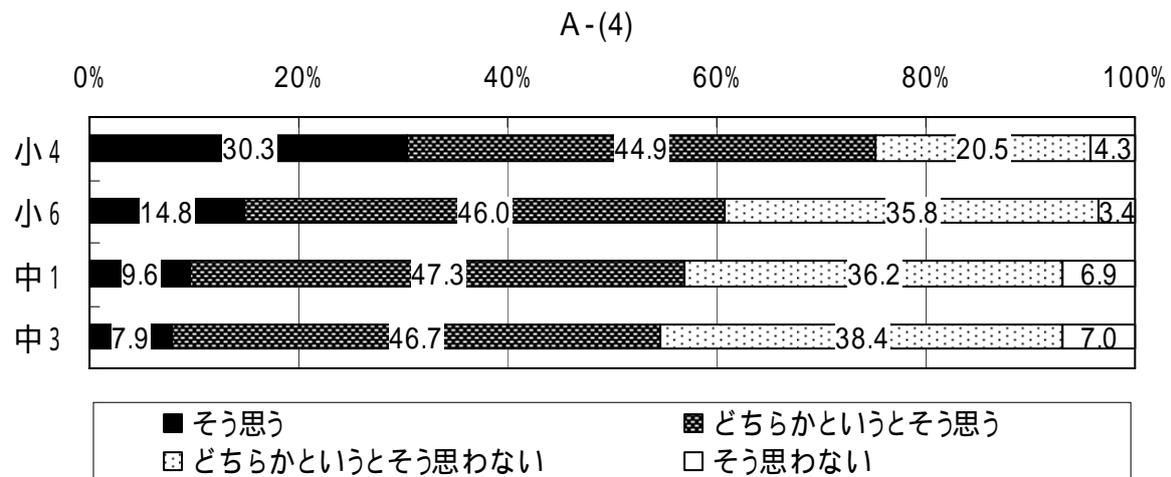
（２）朝の会や帰りの会では、おちついて友だちの話や先生の連絡を聞いている人が多い。



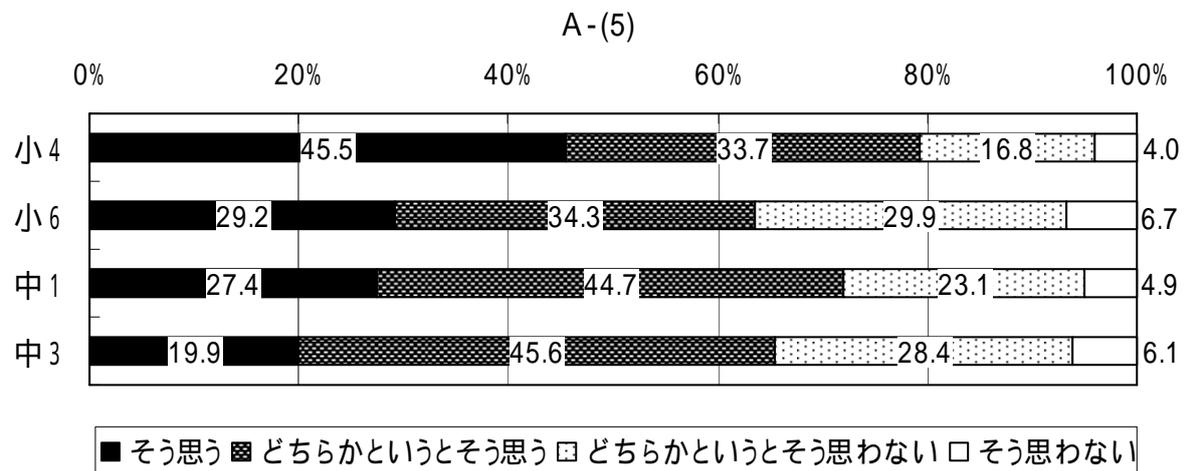
（３）授業では、積極的に発言や質問をする人が多い。



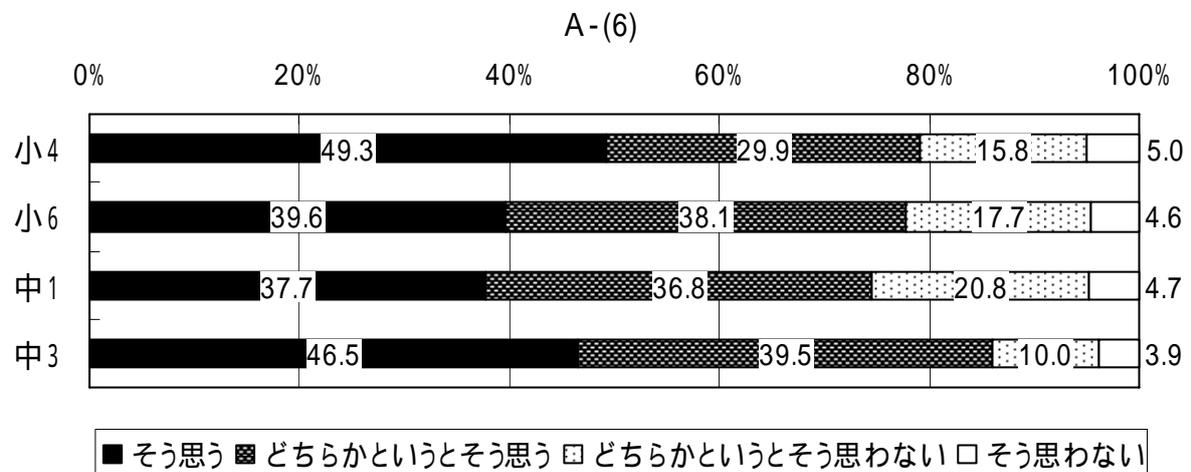
（４）先生の話や友だちの話をよく聞いてから、自分の考えを言える人が多い。



（５）授業では、時間を守って、きちんと席に付いている人が多い。

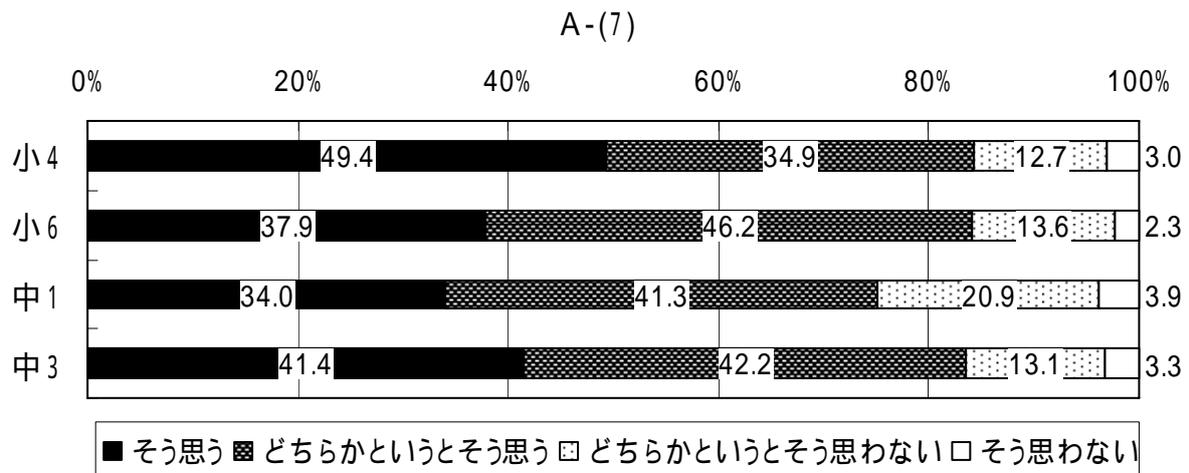


（６）給食では、なごやかな雰囲気ですべての食事をしている人が多い。

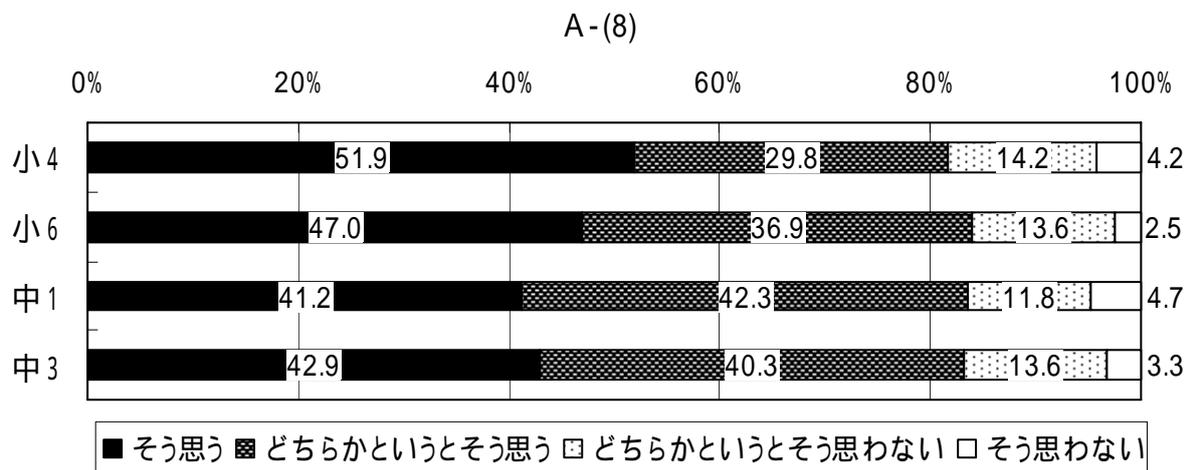


単純集計結果（A）

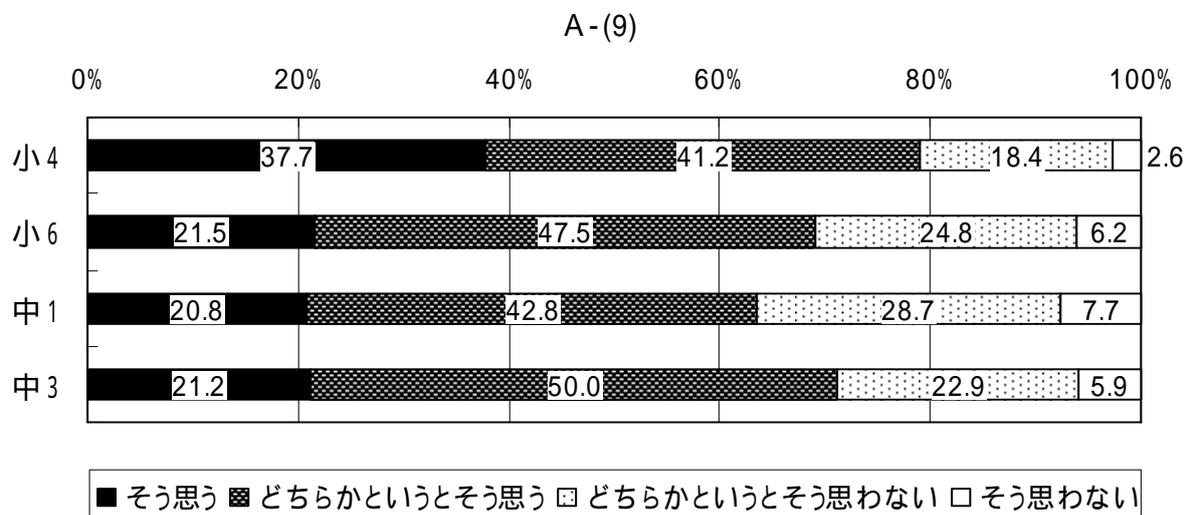
（7）給食では、協力して準備や後片づけをしている人が多い。



（8）教室にごみを散らかしたり、ものをこわしたりする人は少ない。

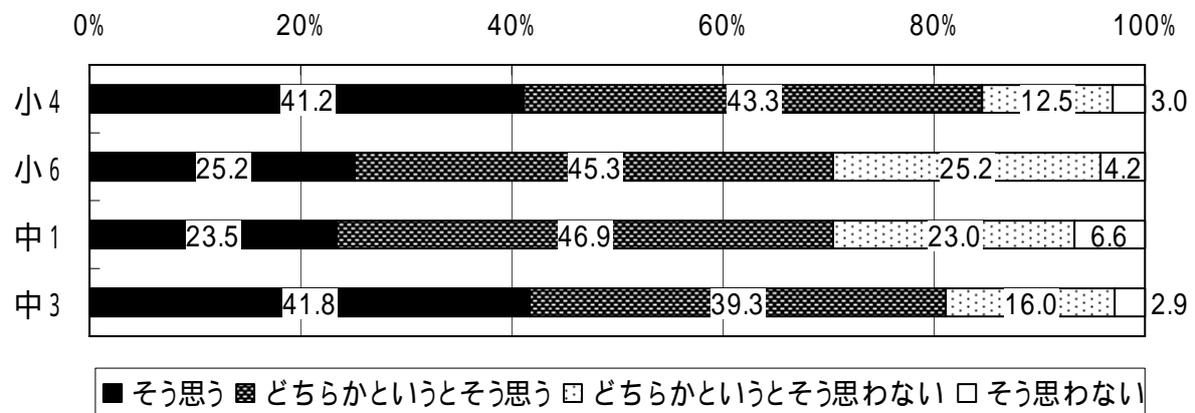


（9）掃除にまじめに取り組む人が多い。



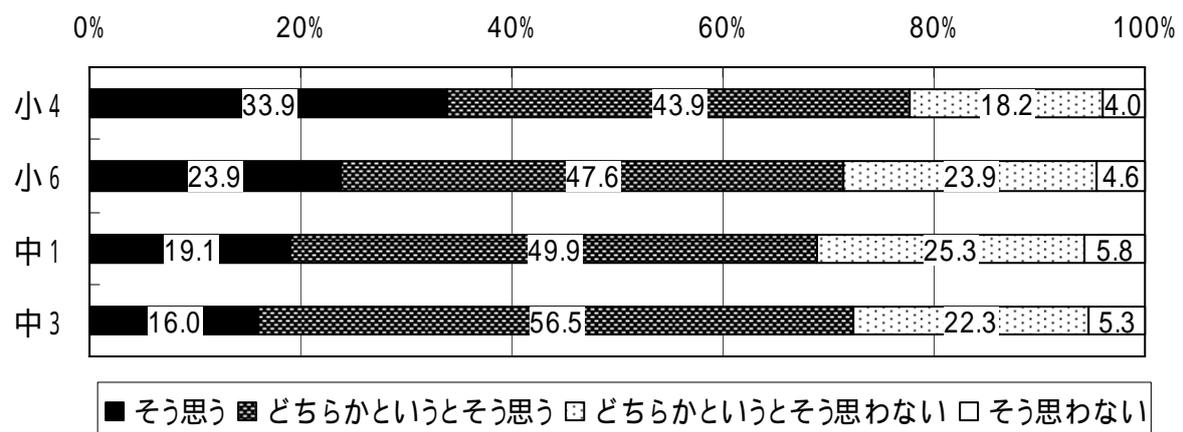
（10）学級がよくまとまっていて、学級活動や学校行事に積極的に参加している人が多い。

A-(10)



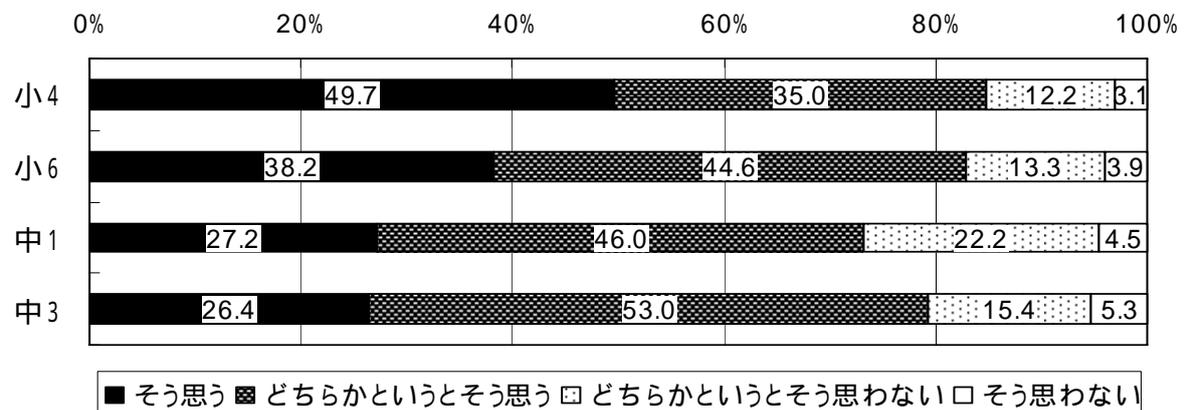
（11）約束やきまりを守って生活している人が多い。

A-(11)



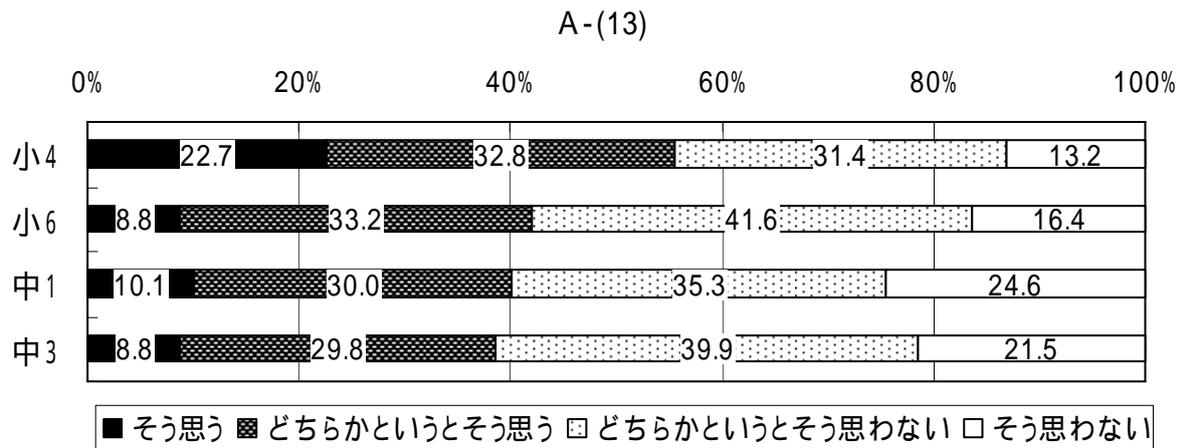
（12）だれかが困っている時、手助けしてくれる人が多い。

A-(12)

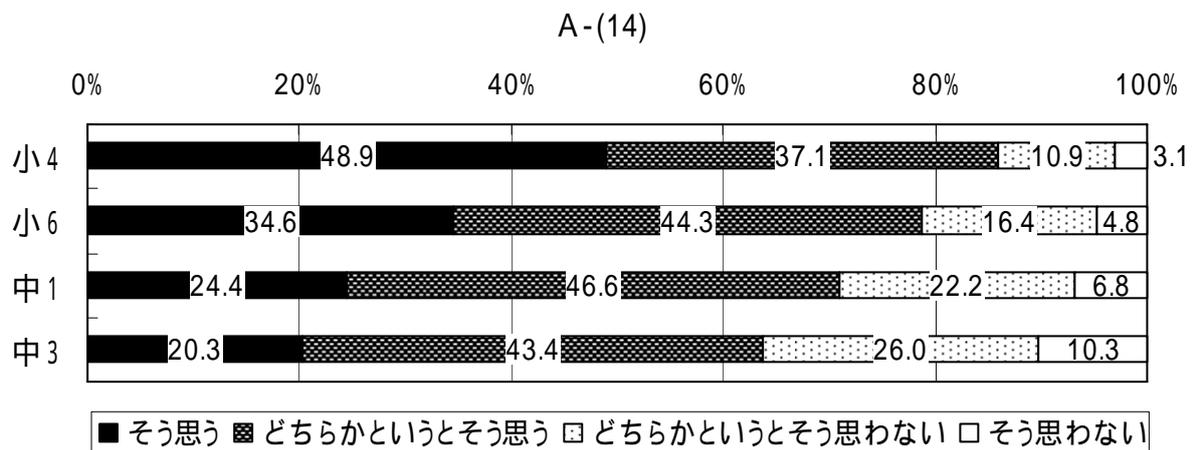


単純集計結果（A）

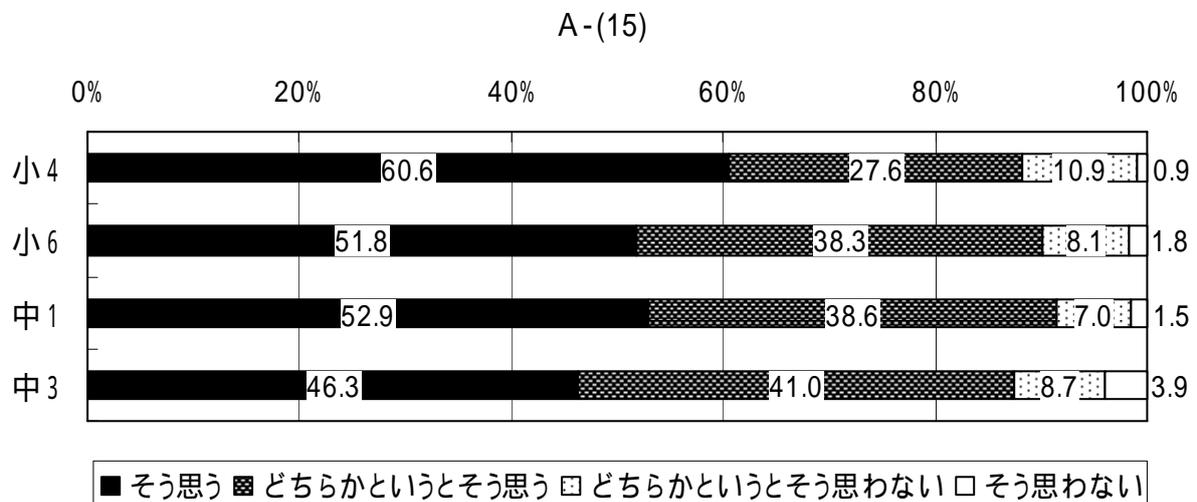
（13）先生方から、この学級は落ち着いていると言われることが多い。



（14）行事などで、みんなをうまくリードして、もり上げてくれる先生が多い。

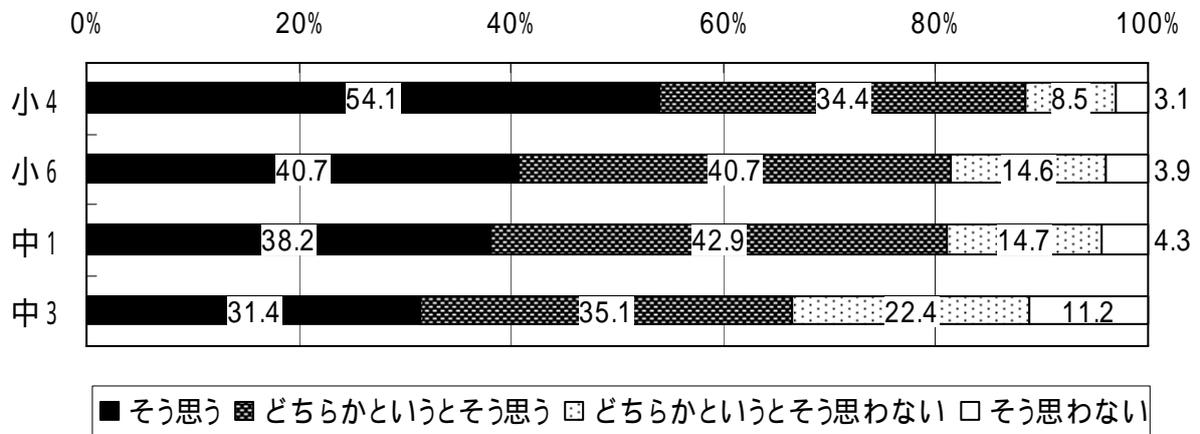


（15）ルールやマナーを守ることをきびしく指導してくれる先生が多い。



（16）だれかが困っていたり、トラブルが起こったりしたとき、熱心にかかわってくれる先生が多い。

A-(16)



B【あなた自身のことについて】

子どもたちが、自分自身の気持ちや、学級の友人、教師、家族などの自分を取り巻く人々との対話について、どのように受け止めているか把握するために、下の表のような13項目を設定しました。

それぞれの項目について、Aと同様に、「1 そう思う」、「2 どちらかというそう思う」、「3 どちらかというと思わない」、「4 そう思わない」、あるいは、「1 すき」、「2 どちらかというとき」、「3 どちらかというときではない」、「4 すきではない」、など、四つの選択肢で回答を求めました。

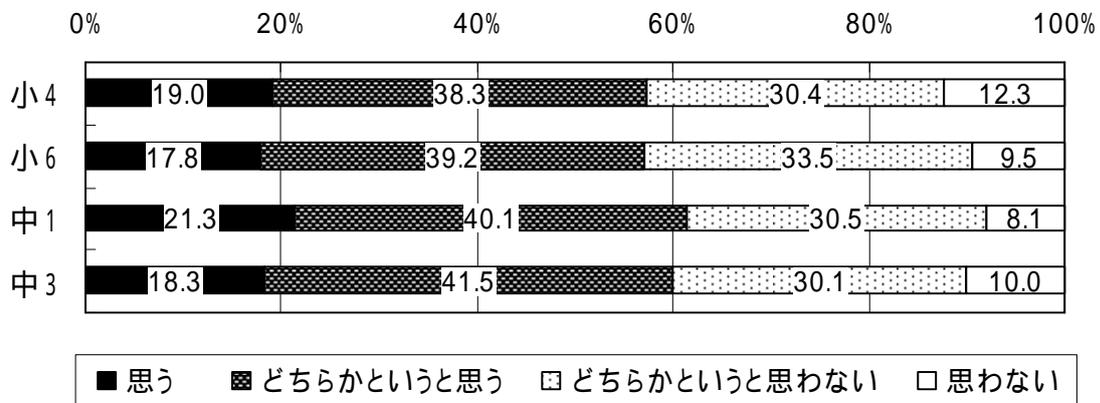


Bの13項目

番	項 目
(1)	あなたは、自分を「おこりっばい」と思いますか。
(2)	あなたは、目立つことがすきですか。
(3)	あなたは、みんなといるより一人でいる方が楽だと思いませんか。
(4)	あなたは、人と仲よくなるのがじょうずだと思いませんか。
(5)	あなたは、毎朝、気分よく登校できますか。
(6)	友だちと話すとき、あなたは相手の気持ちを考えながら話をしていますか。
(7)	友だちは、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いませんか。
(8)	あなたは、担任の先生の話をよく聞いていますか。
(9)	あなたのまわりの先生は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いませんか。
(10)	あなたは、家に帰ってから、その日の学校のできごとについて家族と話しますか。
(11)	家族は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いませんか。
(12)	あなたは、自分の学級にいと落ち着きますか。
(13)	あなたは、自分の学級を気に入っていますか。

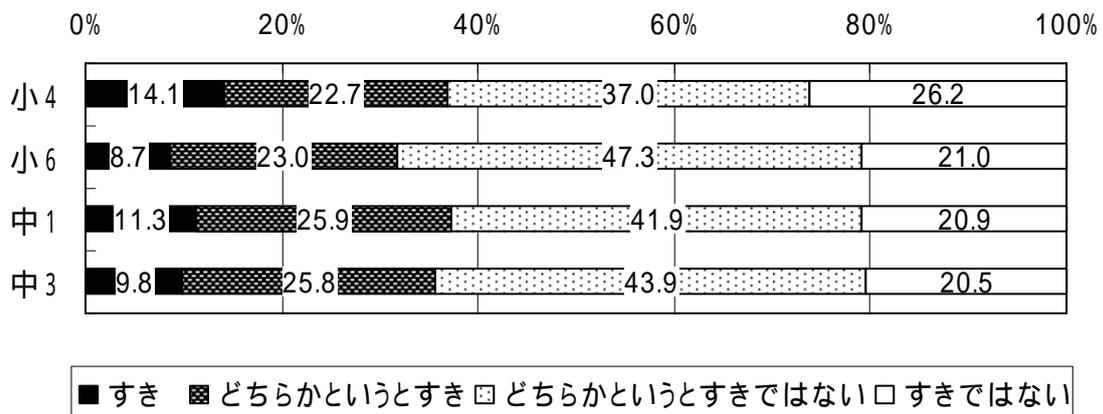
(1) あなたは、自分を「おこりっぽい」と思いますか。

B-(1)



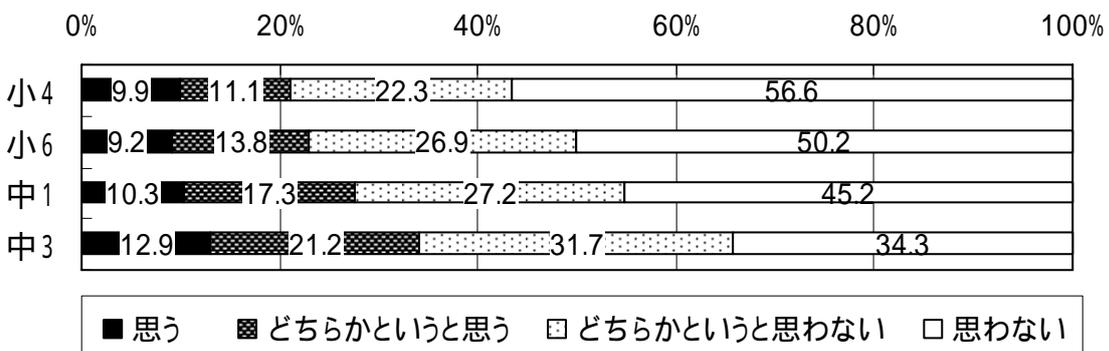
(2) あなたは、目立つことが好きですか。

B-(2)



(3) あなたは、みんなというより一人の方が楽だと思いませんか。

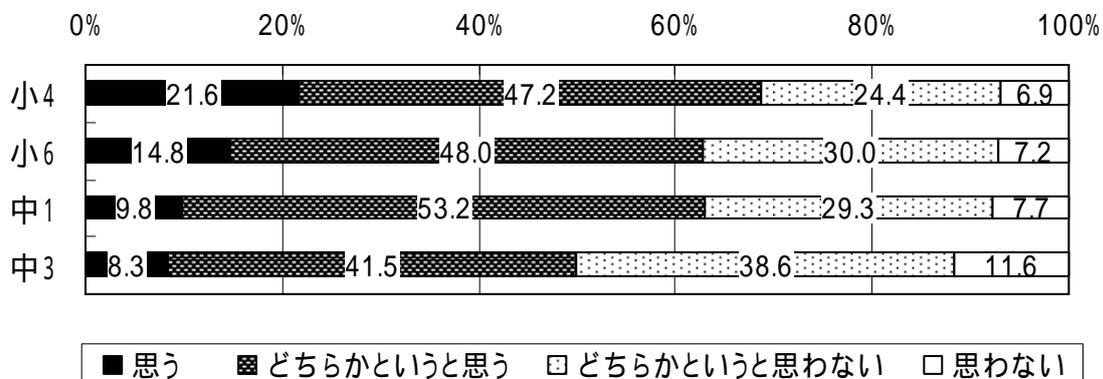
B-(3)



単純集計（B）

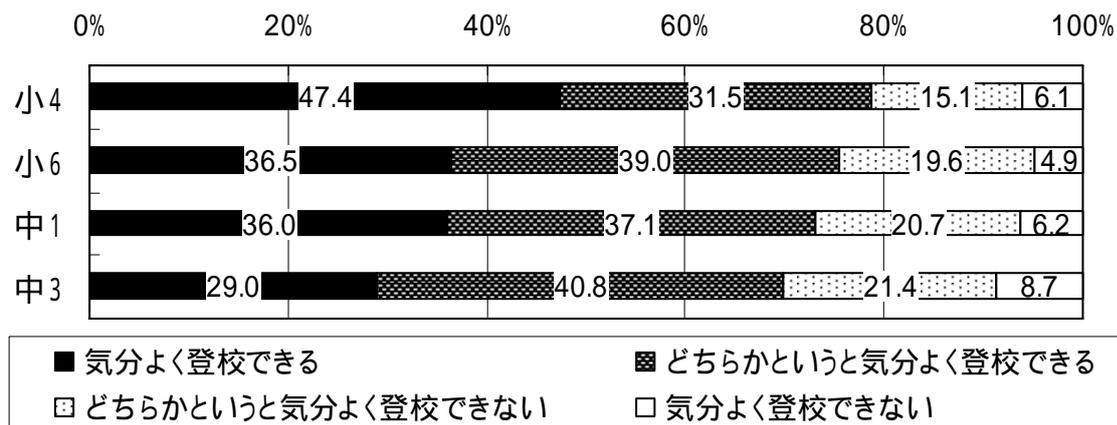
（４）あなたは、人と仲よくなるのがじょうずだと思いますか。

B-(4)



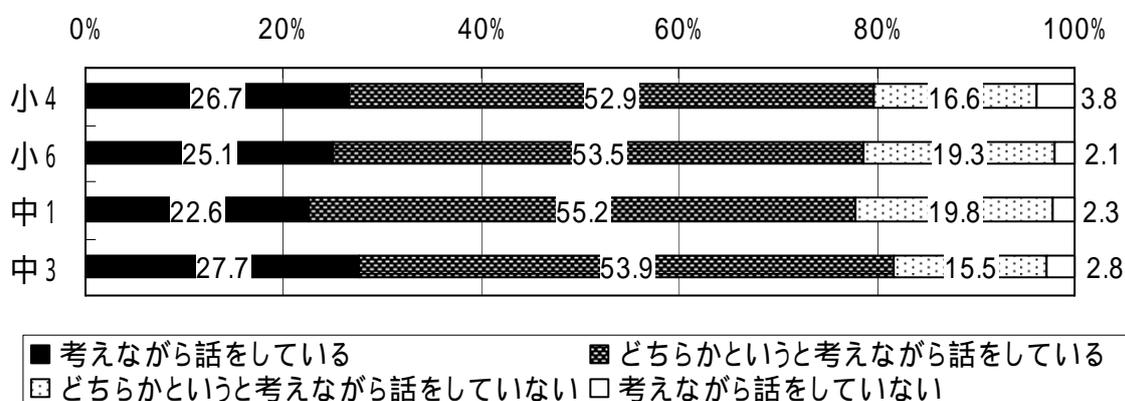
（５）あなたは、毎朝、気分よく登校できますか。

B-(5)



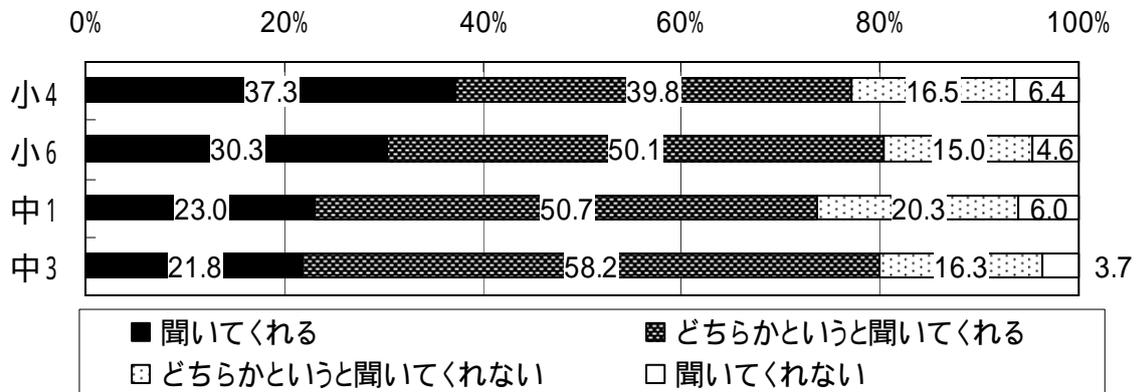
（６）友だちと話すとき、あなたは相手の気持ちを考えながら話をしていますか。

B-(6)



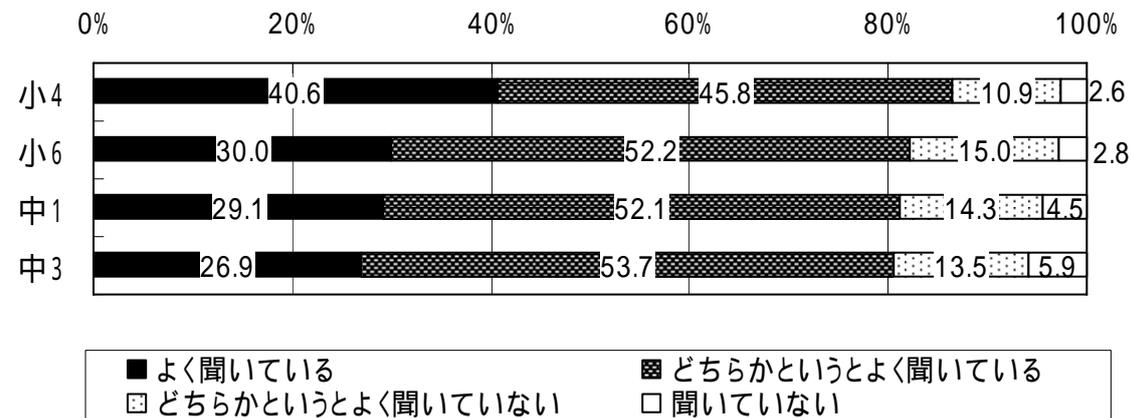
（7）友だちは、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか。

B-(7)



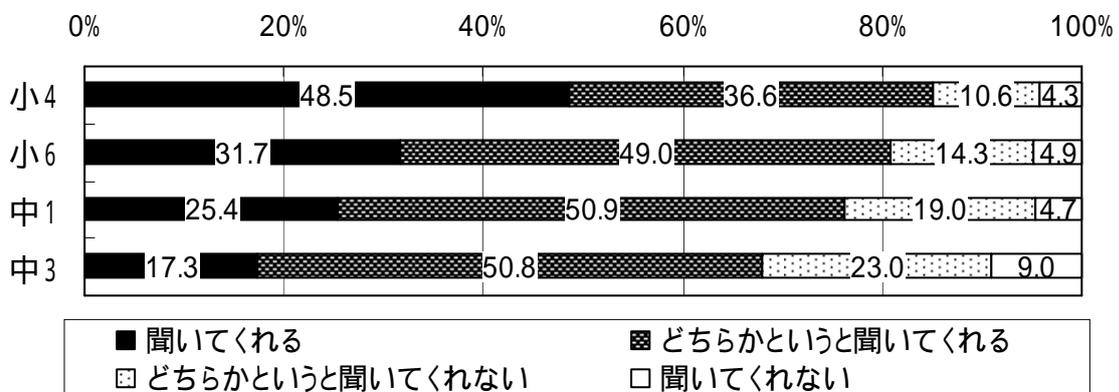
（8）あなたは、担任の先生の話をよく聞いていますか。

B-(8)



（9）あなたのまわりの先生は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか。

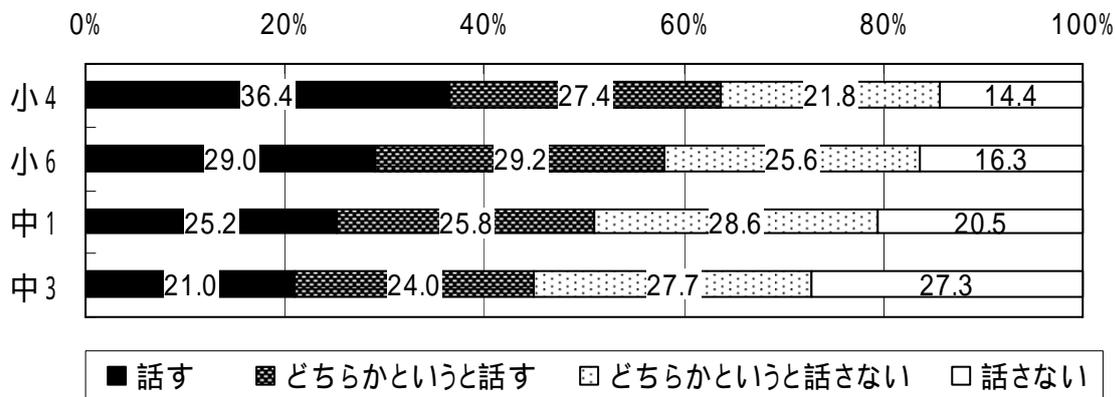
B-(9)



単純集計（B）

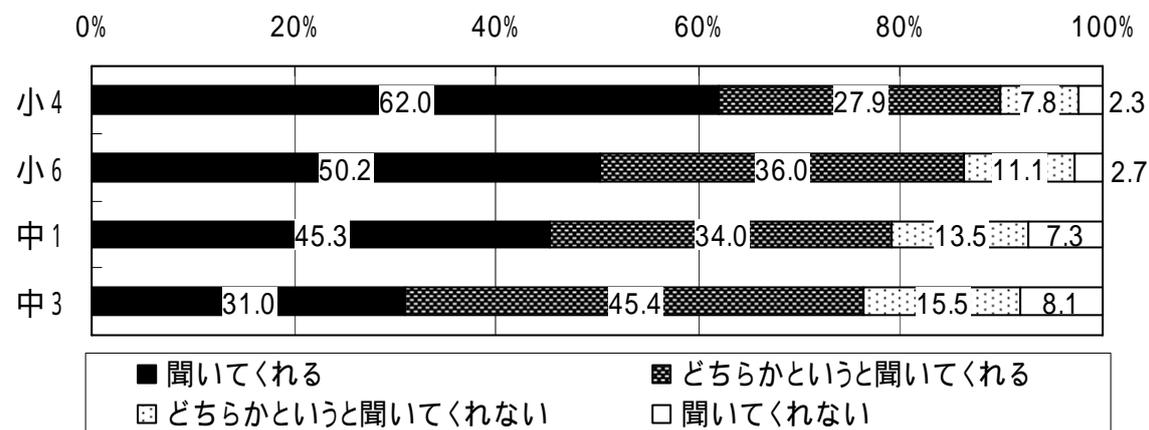
（10）あなたは、家に帰ってから、その日の学校のできごとについて家族と話しますか。

B-(10)



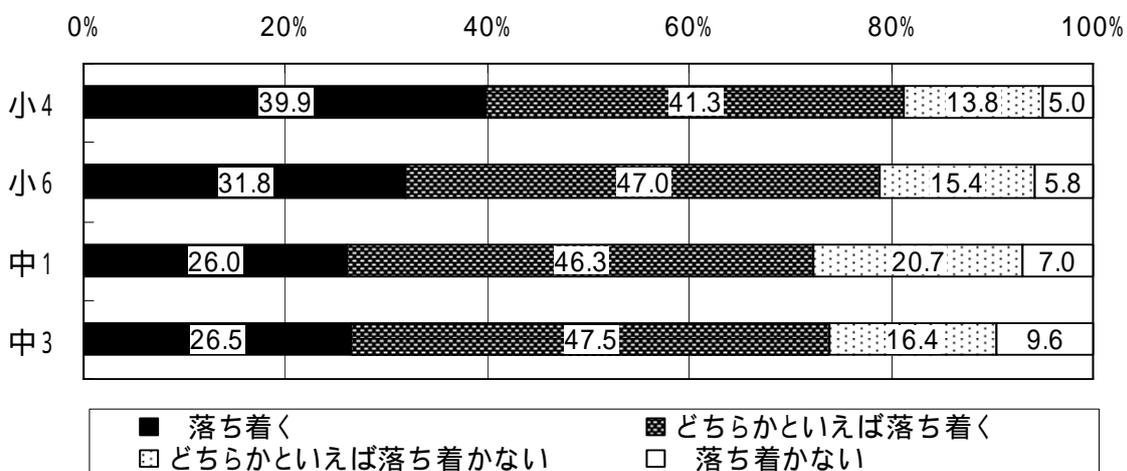
（11）家族は、あなたの気持ちを考えて話を聞いてくれると思いますか。

B-(11)



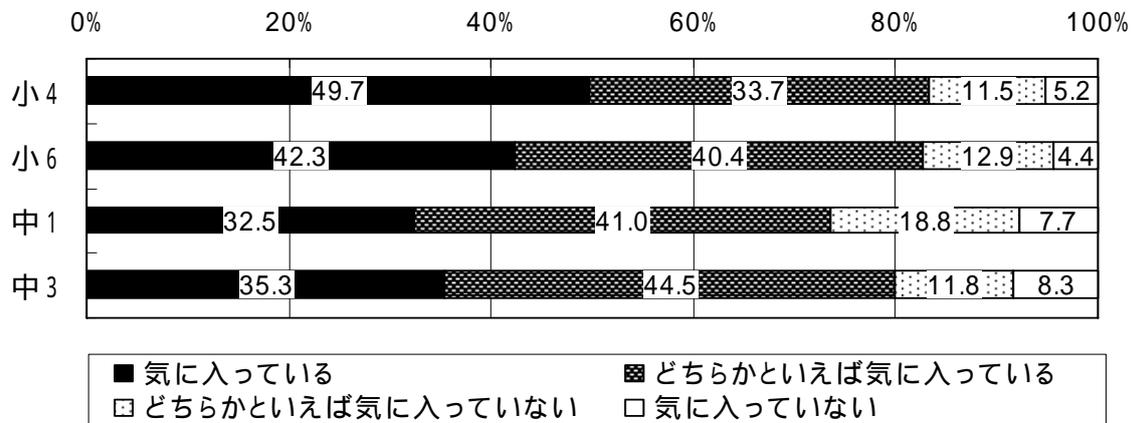
（12）あなたは、自分の学級にいと落ち着きますか。

B-(12)



(13) あなたは、自分の学級を気に入っていますか。

B-(13)



C【学級の活動に対するあなたの考えについて】

子どもたちは、ふだんの学校行事や学級活動において、自分たちで意見やアイデアを出し合ってよい集団をつくろうと努力しています。そうした活動での友人、教師、家族との関わりや支えについて、下の表のような9項目を設定しました。



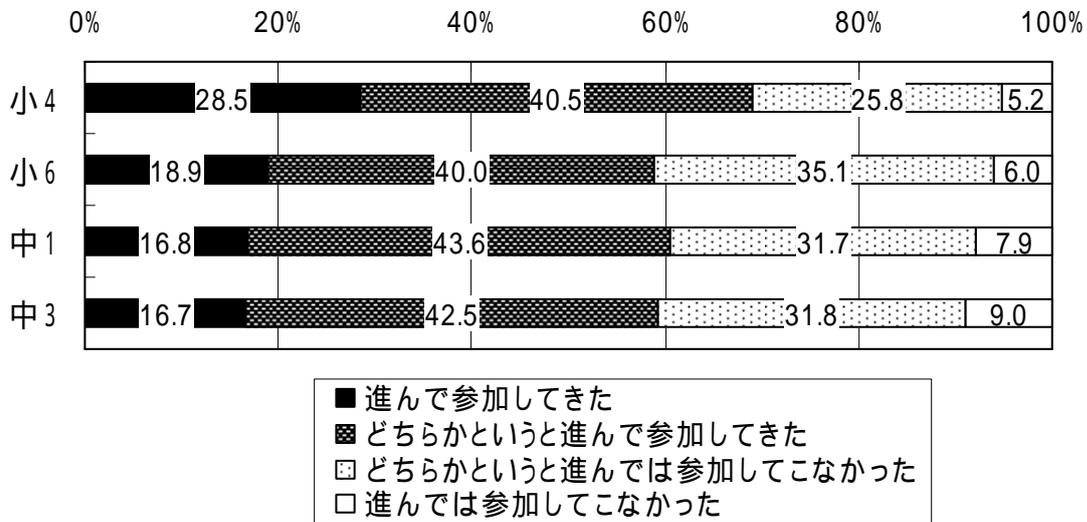
あなたは、学校のことでこまったとき、だれにはげましてもらとうれしいですか。

Cの9項目

番	項 目
(1)	あなたは、今まで、学級の話し合いや活動に自分から進んで参加してきましたか。
(2)	あなたは、話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか。
(3)	あなたは、話し合いの司会をすることが得意ですか。
(4)	あなたが話し合いの司会に選ばれた場合、うまくいくと思いますか。
(5)	話し合いの結果、いくつかの意見に分かれた場合、あなたはどのように司会を進めたいと思いますか。
(6)	あなたが話し合いの司会に選ばれた場合、友だちにどのようにしてほしいですか。
(7)	あなたが話し合いの司会にみんなから選ばれたことを家の人に話した場合、家の人は何を言うと思いますか。
(8)	今よりも、みんなが話し合いや活動に進んで参加するようになるために、「先生におねがいしたいこと」はありますか。
(9)	あなたは、学校のことでこまったとき、だれにはげましてもらとうれしいですか。

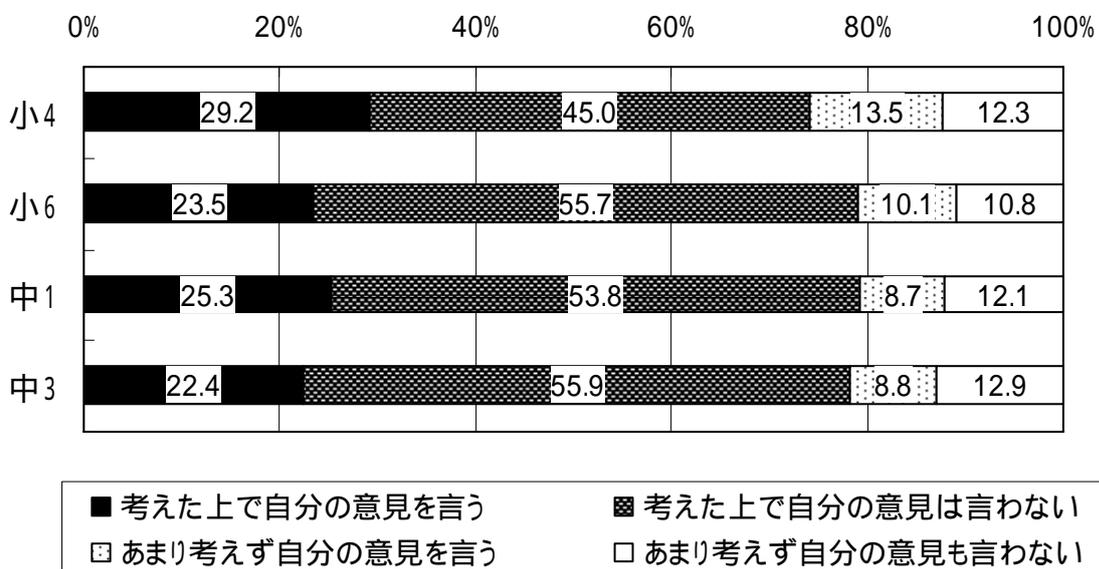
（1）あなたは、今まで、学級の話し合いや活動に自分から進んで参加してきましたか。

C-(1)



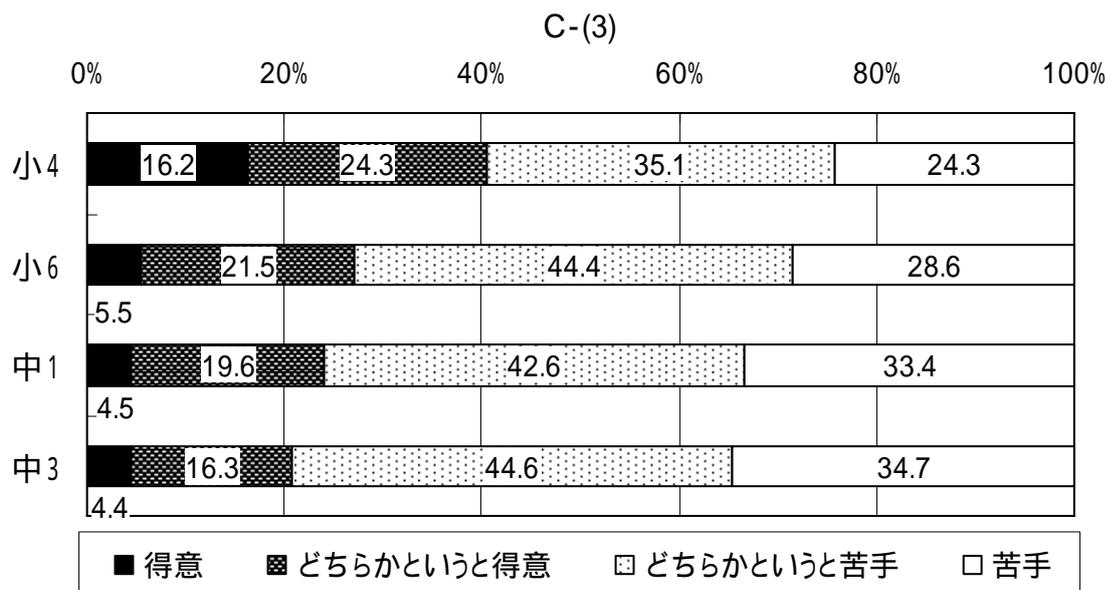
（2）あなたは、話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか。

C-(2)

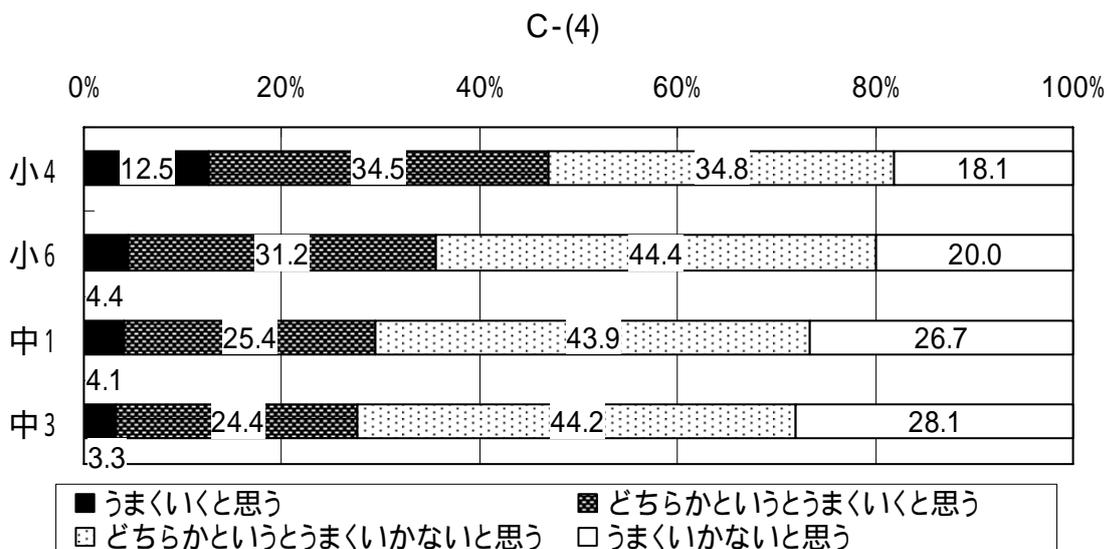


単純集計結果（C）

（3）あなたは、話し合いの司会をすることが得意ですか。

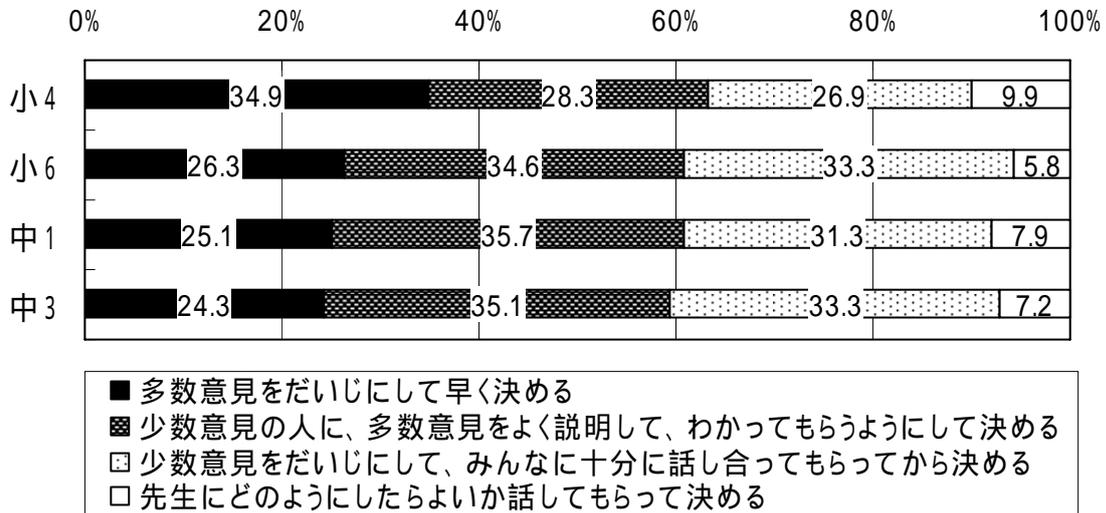


（4）あなたが話し合いの司会にえられた場合、うまくいくと思いますか。



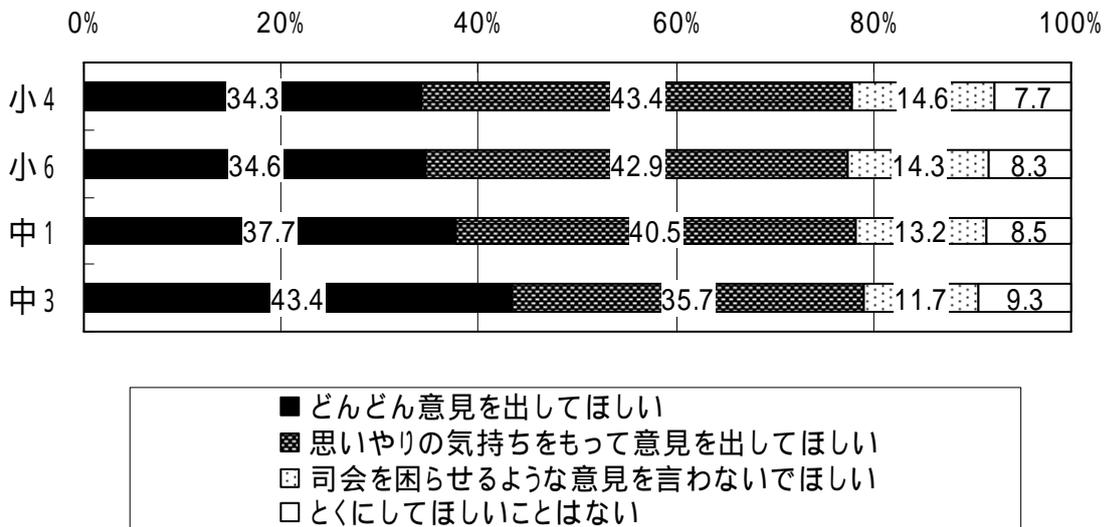
（5）話し合いの結果、いくつかの意見に分かれた場合、あなたはどのように司会を進めたいと思いますか。

C-(5)



（6）あなたが話し合いの司会にえらばれた場合、友だちにどのようにしてほしいですか。

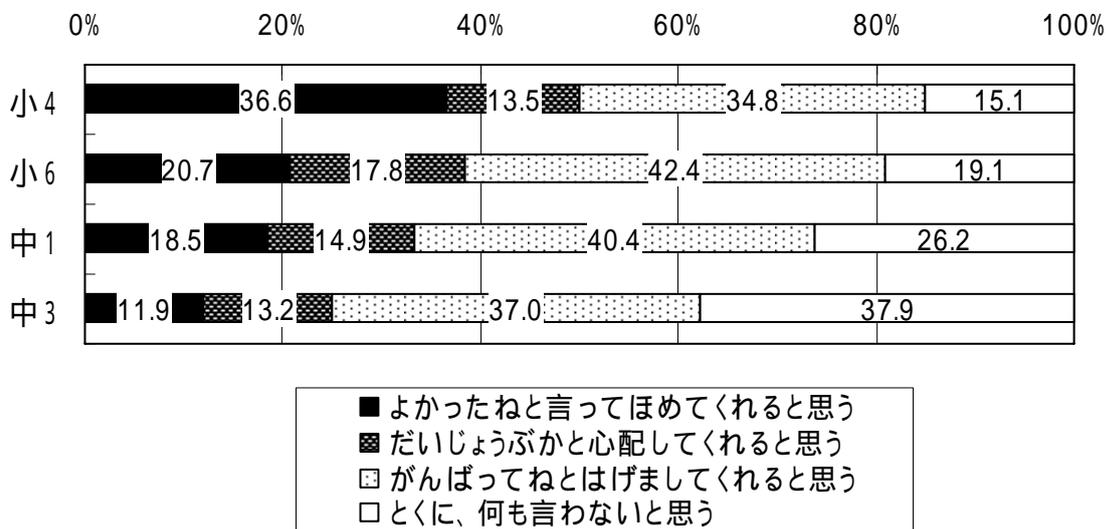
C-(6)



単純集計結果（C）

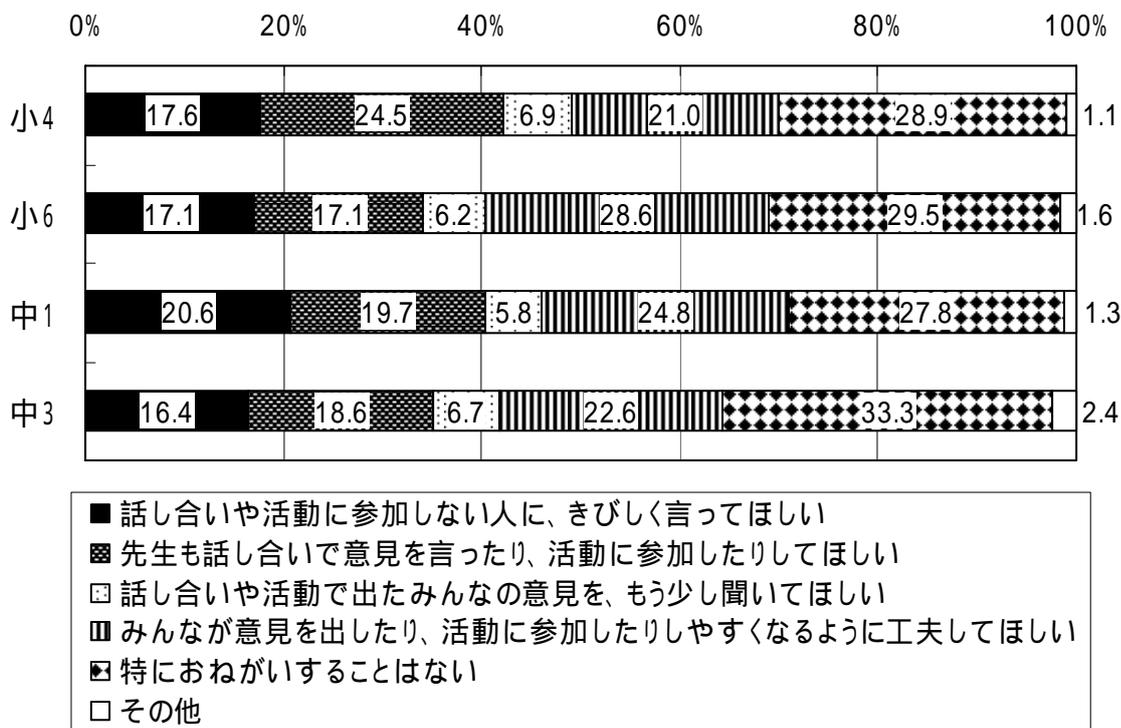
（7）あなたが話し合いの司会にみんなからえられたことを家の人に話した場合、家の人はどうなことを言うと思いますか。

C-(7)



（8）今よりも、みんなが話し合いや活動に進んで参加するようになるために、「先生におねがいたいこと」はありますか。

C-(8)



（9）あなたは、学校のことでもったとき、だれにはげましてもらとうれしいですか。

C-(9)

